

就労許可証

第18条

- (1) 規則第19第1項により、カナダ市民又はカナダ国の永住者を除き、いかなる者も、有効に存在する就労許可証をもたずに、仕事につき若しくは引き続き仕事を継続することが出来ない。
- (2) 有効に存在する就労認可証を有する者の場合にも、就労許可証に示された諸条件を遵守しない時は、カナダ国に在って仕事を継続することは許されない。

第19条

- (1) 就労の目的で入国しようとする者又は既に在住して就業を望み或いは引き続き労働に従事しようとする者で、以下の条件に該当する者に対しては、規則第18条第1項の規定は適用しない。
 - (a) カナダに在住若しくはカナダ国に入国する者であって、カナダを除くその他の国、国際連合又はそのいずれかの代表機関若しくはカナダ国の加盟する国際機構の外交官、領事、代表者、職員或いはその属僚としての公式の職務を行う者。
 - (b) 外国の陸軍軍人又は軍属で、カナダ国の安全国防に関する訓練その他の目的のために、或いは又カナダと他の国との間の何等かの条約又は協定に基づいてカナダ国に來たり又は駐在する者。
 - (c) 牧師又は宗教団体の一員で、その者の属する宗教の職務上の任務を行うために、一時的にカナダ国を訪れ或いは在住する者。
 - (d) 演技者として或は又その団員の一人として、或る劇団に於いて働くためにカナダを訪れ又はは在住する者、但し、この場合に於いて、その団体に占める演技者及び団員の数は20人を下ってはならない。
 - (e) 専ら貨物及び乗客の国際輸送に従事する外国船或いは外国籍登録の船の乗組員の一員として就労するためにカナダ国を訪れ或いはカナダ国に在る者
 - (f) カナダ国に於ける事件に関する報道をずる目的で、カナダ国を訪ね又はカナダ国に在住する外国通信社の社員。
 - (g) カナダ国外で営業を行う商社の代表者又は外国政府の代表者であって、商品又はサービスの買付けのためにカナダ国を訪ね又はカナダ国に在住

する者

- (h) 90日以内の間、商品の販売に従事する目的で、カナダ国を訪ね又はカナダ国に在住するカナダ国外で営業を行う商社の代表者又は外国政府の代表者。ただし代表者に在っては、一般大衆又は小売店への販売の仕事に従事しない者とする。
- (i) カナダ国外で営業を行う会社、組合又はその他の組織の従業員であって、カナダ国を訪ね又は在住して、90日以内の間、組織を代表して、カナダ国内に於ける親会社又は子会社又はカナダ国に於ける支店の他の従業員と相談を行い或いは当該会社又は支店を視察する者。
- (j) カナダ国内の人命、財産の維持のためカナダを訪ね或いはカナダ国に在住して緊急医療又はその他の奉仕をしようとする者。
- (k) 運動競技又はスポーツ活動又は試合に従事し或いは支援のために、カナダ国以外に根拠をもつ団体の一員としてカナダ国を訪ね或いは居住する者、或いは審判員、審査員又は同種の職員以外の者で、運動競技又はスポーツ活動又は試合に従事する個人参加者としてカナダ国を訪ね又は居住する者。
- (1) 本規則の発効前に、旧移民法施行規則第1部に基ついて交付された就労者入国査証を有する者で、その規則の廃止がない場合には、その就労者入国査証が今日尚有効に存続している者。
- (2) 規則第1項の規定に拘わらず、同項に記載する者は、就労許可証がなければ引き続き就労或いは如何なる次の仕事にも従事することが出来ない。
- (3) カナダ国に在住する者は、次の条件を満する時は、就労許可証の申請をすることが出来る。
 - (a) 第1項(a)、(b)、(c)、(f)又は(i)に記載する者又はカナダ国に在住するそれらの者の配偶者又は未婚の子。
 - (b) 引き続き有効な就学許可証を有する者又はその者の配偶者又は未婚の子
 - (c) 引き続き有効な就労許可証を有する者
 - (d) カナダ国内に根拠地をもつ運動チーム又は団体或いは組織の選手、監督、実地訓練者、指導員或いは管理者として運動競技又はスポーツの活動又は試合に従事する者、それらの者の配偶者又は未婚の子。又はカナ

ダ国に於いて行われる何らかの運動競技又はスポーツ活動又は試合に関して、審判員、審査員或いは類似の役職を有する者として従事する者。

- (c) 入国手続の申請を行うも未だ処分のなき者。
 - (f) 国連協定による難民であると主張し若しくはカナダ市民であると主張する者であって、その主張が未だ最終的に認められていない者。
 - (g) 永住者でない国連協定による難民。
 - (h) 不服申立て委員会により移動命令の執行が猶予された者。
 - (i) 主務大臣が移動命令の執行を猶予している移民法第52条第1項の(b)に掲げる者或いは刑事訴訟上の手続きの必要上、カナダ国に在住することを要求されている者。
 - (j) 移動命令に関して開始された裁判の最終決定を待つ者。
 - (k) 移動命令を発せられながらも、未だ命令の実行がされない者。
- (4) 第3項(b)の規定により、旧移民法第7条第1項の(f)に掲げる者として入国することを許可された者は、次の条件を具備する場合には、引き続き有効な就学許可証を有するものと看做されなければならない。
- (a) その者が合法的にカナダ国内に居ること。
 - (b) 旧移民法の廃止前、同法及び規則中のすべての要求される事項について、之を遵守していたこと。
 - (c) 旧移民法の廃止後に於いて1976年公布の新移民法中に於いて要求される事項につき、之を遵守していること。

第20条

(1) 移民官は

- (a) その者がカナダ国内に於いて仕事をする時は、カナダ市民或いはカナダ国の永住者の雇用機会が妨げられると考えられるか
 - (b)(i) その者に就労許可証を交付する時は、その者が雇用される或いはされる予定の場所に於いて進行中の労働争議の解決に悪い結果をもたらすか
 - (ii) その者に就労許可証を交付する時は、かかる争議に関係する者の雇用に対して悪い影響を与えると判断する場合には、就労許可証の交付を行ってはならない。
- (2) 移民官は、以前カナダ国内に於いて正当な就労許可証を持たずに仕事に

つき、若しくは就労許可証の条件に違反する行為の在った者に対しては、新たに就労許可証を交付してはならない。但し、移民官が、その者の過去に於ける違法な就労若しくは許可の条件に反する行為は決して意図されたものではなく、他の何等かの止むを得ない理由によるものと認める時は、この限りではない。

- (3) 移民官は第1項(a)に規定する趣旨の意見を述べるに際しては、次の事項に付き考慮しなければならない。
- (a) その移住者を雇用しようとする使用者は、移住者が就労許可証を必要とされている仕事について、以前カナダ市民或いはカナダ国に永住する者を使用し且つ訓練に必要な努力をしたか否か。
 - (b) 就労許可証を必要とする仕事についての申請人の資格。
 - (c) 提示された賃金及び労働条件は、カナダ市民又はカナダ国の永住者の労働意欲を鼓舞し且つ彼等が生計を維持するために充分であるか否か。
- (4) 第3項(a)及び(c)に掲げる問題を考慮するために、移民官は、就労許可証を求めている者が働くことを望んでいる地域を管轄する国家雇用安定局の地方事務所の担当官と協議をしなければならない。
- (5) 第1項(a)の規定に拘わらず、移民官は、次の者に対して就労許可証を交付することが出来る。
- (a) 第19条第3項の(e)乃至(k)に掲げる者。
 - (b) カナダ国政府又はその代表者が外国政府と締結した協定に従い、カナダ国に来る者又はカナダ国に居住する者。
 - (c) 1回限りの又は継続して行われる興業上の招待出演の契約を履行する目的でカナダ国へ入国するか或いはカナダ国に在る者。但し、次の場合を除く。
 - (i) 当該契約が単に商業活動に付帯的なもので、芸術的表現のみに限定されていない場合。
 - (ii) 当該契約がカナダ国内の或る特定の団体への永久就職につながっている場合。
 - (d) その者の雇用が主務大臣により認可された研究、教育又は訓練上の計画に関連している者。
 - (e) 移民官が、次の理由によって、第1項(a)の規定を適用すべきでないとする場合。

考える者。

- (i) その者の雇用により、カナダ市民又はカナダ国永住者にも、有意義な雇用機会、便益或いは成功の機会が与えられる者。
- (ii) その者が如何なる報酬も受ることなくカナダ国に在る宗教若しくは慈善団体に使用される予定である者。
- (iii) その者の雇用と引き換えに、カナダ市民の他の国に於ける雇用が結果的に与えられる者。

健康診断

第 21 条

- (1) 次の範疇に属する訪問者は、医務官により健康診断を受けなければならない。
 - (a) 大衆の健康の維持が本質的に重要と考えられる職業に従事しようとする者又は引き続き従事しようとする者。
 - (b) 合計90日を超える期間、その職業に従事しようとする者又は引き続いて従事しようとする者。
 - (c) 移民法第10条の(a)又は(b)に掲げる目的のために許可証を求める者があって、その認可の申請の日以前5年以内の或る時期に、保健大臣が、カナダ国に比して、結核、腸内寄生虫疾患又は悪性伝染病が発生する怖れの強い地域として指定した場所に居住或いは旅行をしたことのある者。
 - (d) 合計90日を超える期間にわたって、カナダ国に入国し滞在しようとする者であって、その者のカナダ国入国或いは滞在の日以前5年以内の或る時期に於いて、保健大臣が、カナダ国に比して、結核、腸内寄生虫疾患又は悪性伝染病が発生する怖れが強い地域として指定した場所に居住或いは旅行をしたことのある者。
- (2) 規則第1項に掲げる者はすべて、その者が移民法第19条第1項(a)に記載する者でないことを示す医務官の有効な診断書をもっていなければならない。

第 22 条

医務官は、公共の福祉及び安全上、その者の存在が危険であるか又は将来危険を招くであろうとの判断をなし或いはその者の入国を許可することによ

り、保健衛生上又は社会的サービス上の負担が著しく増大すると結論をするに際しては、その者の経験した病気の性質、程度、治療に要した期間、心身機能の不全、障害或いはその他の健康上の傷病に関する次に掲げる要因を考慮してその結論を出さねばならない。

- (a) その者についての医師の報告書。
- (b) その者の病気、不調、障害又はその他の傷病が他人に感染を及ぼす度合。
- (c) 公衆衛生上、医学上の監視の必要性。
- (d) 突然の無能力者化、或いは予測し得ない或いは異常な行動がある場合に、それが公共の安全にとり危険となる程度か否か。
- (e) その者がカナダ国内に於いて、医療又は社会的サービスを求める場合に、そのサービス提供が次に掲げる要因にあてはまるか否か。
 - (i) かかる請求が他のカナダ市民又は永住者に対する同様のサービスの提供を妨げ或いは遅滞させるものである
 - (ii) カナダ国に於いては、かかるサービスは、請求があった場合にでも、与えることが出来ない
- (f) 治療を受け又は入院加療が必要か否か。
- (g) 就職の可能性又は生産能力も有する者でないか否か。

入国許可条件

第 23 条

- (a) 移民官が、移民法第 14 条第 2 項(a)及び第 14 条第 3 項又は第 4 項又は第 17 条第 2 項の(b)により、入国許可のための条件を付し、
- (b) 上席移民官が、移民法第 23 条第 1 項(a)又は第 23 条第 2 項により、入国許可のための条件を付し、又は
- (c) 審判官が、移民法第 32 条第 3 項(a)又は第 32 条第 4 項により、入国許可の条件を付する場合において、次の場合には、次に掲げる性質の条件に限り之を賦課することが出来る。
- (d) 移住者の場合
 - (i) その者の許婚者の身元引き受け保証に基づいてなされた入国許可申請により入国を許可された者である時は、入国後 90 日以内にその許婚

者と婚姻するとの条件。

(ii) 健康診断及び必要な処置を受けるべく出頭すべき日及び場所。

(iii) 賦課された許可条件を遵守した証拠を示すべき日、及び場所。

(e) 訪問者の場合に在っては

(i) カナダ国内に於て就労することの禁止。

(ii) 如何なる大学、高等専門学校或いはその他の学問的機関に通学若しくはこれらの機関に於て学問的、専門的或いは職業的訓練の課程を履習することの禁止。

(iii) 教育課程或いは移民官の指定する大学、高等専門学校或いはその他の学校に出席すること。

(iv) その者の従事する職業の種類。

(v) その者の雇用主及び、その者が引き続き就労する者である時はその期間内の雇用主。

(vi) その者がカナダを出国するに際しての猶予期間。

(vii) その者がカナダ国内で旅行をすることが出来る地域。

(viii) 船舶乗組員の一人となる予定の者が乗船する迄の猶予期間。

(ix) 健康診断や医療上の処置を受ける目的或いはその他の目的で、その者が出頭すべき日時及び場所。

(x) その者に賦課された認可条件を遵守したと云うことを証明すべき日時及び場所。

第 24 条

(1) 移民法第 15 条第 2 項又は第 16 条第 1 項に定める者によりなされる申請はすべて書面によるものとし、且つ次の事項を記載したものでなければならぬ。

(a) 申請人及びその家族の各につきその住所及び氏名。

(b) 申請人及びその家族の各について、それぞれの生年月日と出生場所。

(c) 申請人及びその家族の各について、それぞれの国籍。

(d) 申請人及びその家族の各について、それぞれの入国月日及び入国の場所。

(e) 申請人及びその家族の各について、それぞれに付き賦課された原条件。

(f) 前号の条件に関する変更事項。

- (g) 条件の変更を必要とする理由及び
必要とされる場合には、次のものを添付しなければならない。
 - (h) 規則第 15 条第 1 項に掲げる証拠書類。
 - (i) 申請人が適当と考えるその他の手続き書類又は情報。
- (2) 移民法第16条第 1 項の規定により、申請を行う訪問者は全て、その申請書を本人が移民官に提出しなければならない。
- (3) 移民法第 15 条第 2 項或いは第 16 条第 1 項の規定により、申請がなされた場合には、その申請書を審査する移民官は、面接による個人審査の目的で、申請人に対して、本人が出頭することを求めることが出来る。

供託金及び債権証券

第 25 条

- (1) 副大臣が移民法第93条第 1 項の規定により、輸送会社に対して命令を発した場合には
- (a) 供託すべき金額は、その価額の大小を問わず、カナダ国通貨であることを要し
 - (b) その他如何なる供託を必要とする担保も
 - (i) カナダ国政府発行による持参人払い債権証券
 - (ii) カナダ国内国保証規則に準拠して、歳入徴収長官に譲渡されたカナダ国政府登録の債権証券、又は
 - (iii) 輸送会社を本人とし、保証会社を保証人とする主務大臣により受け容れられることの出来る保証債権証券でなければならない。
- (2) 上席移民官が、訪問者中の或る者、団体若しくは組織に対して、移民法中の規定に基づいて、供託することを求め又は履行保証書の郵送を求める時は、その者、団体若しくは組織に対して、その受領証又はその他文書による記録を与え、如何なる場合に、供託金が没収され或いは保証書が執行されるかについて、そこに記載しなければならない。

カナダ国居住者の帰国入国許可

第 26 条

- (1) カナダ国に永住する者が、或る期間カナダ国を離れ或いはカナダ国外に

在る時は、口頭或いは書面により、移民官に対して、居住者帰国入国許可書の申請を行うことが出来る。

- (2) 移民官は、第3項により、次の場合には、前項の申請を行ったカナダ国永住者に対して、居住者帰国入国許可書を交付しなくてはならない。
 - (a) カナダ国永住者が移民官に対して鮮明な本人を確認することが出来る写真を2枚提出していること。
 - (b) 移民官の要求があった時に申請を行った永住者が出頭して面接審査に応じていること。
 - (c) 次の目的でカナダ国を離れるか若しくは離れた者であること。
 - (i) カナダ国内に於いて設立された会社又は企業組織の代表或いは従業員として、或いはカナダ国政府、州、市、町、村等の代表又は職員として、その任務を果たす目的。
 - (ii) その者の専門的、学問的又は職業的資格を向上させる目的。
 - (iii) カナダ市民である又は永住者帰国入国許可書を既に取得している家族の一人に同行する目的。
 - (iv) 移民官が適当と判断する(i)乃至(iii)に記載のない状況下に在る時。
- (3) 上席移民官の同意により、移民官は、相当と認める時は、移民法第24条第1項により、既に永住者でなくなった者又は永住者でなくなる者に対しては、居住者帰国入国許可書を交付してはならない。
- (4) 移民官は、第2項により
 - (a) 12ヶ月を超えない期間有効な居住者帰国入国許可書又は
 - (b) 上席移民官の同意を得て、24ヶ月を超えない期間有効な居住者帰国入国許可書を交付することが出来る。

査 問

第27条

- (1) 査問会議に於いて、家族の被扶養者のうちそのいずれかの者が、その査問会議の被査問者に対して発せられた国外退去命令或いは出国通知の中に含まれるべき者であることを検察官が主張する時は、検察官は、その冒頭に於いて、審判官にその旨を告げ、且つ審判官は、家族員及びその代理人の各々に対し次の事項を告知させなければならない。

- (a) 査問会議の開かれた時間及び場所。
 - (b) その者が査問において、自己の費用負担にて、自己の代理人たる弁護士をつけることが出来ること。
 - (c) その者が査問会議に出席して、証拠を調べ、証人に対して尋問をし、或いは証拠を提出することが出来ること。
- (2) 第1項の規定により、証拠が査問会議に提出される時は、事前に審判官は、次の事項について明確に確認していなくてはならない。
- (a) 移民法第30条第1項に於いて要求されている条件が満足されていること。
 - (b) 必要のある場合には、移民法第20条第1項、同第27条第1項又は同27条第2項の規定によりなされた報告書の謄本が各関係者に利用しうるようになっていること。
 - (c) 査問会議に於いて査問を受ける者が、査問会議で使用される言語を理解し且つ話すことが出来る者であること。
- (3) 査問会議に於いて審判長が第1項又は同第2項に記載される事項のいずれか一つの事項について、満足していない時は、査問会議の期日の延期を行い、或いは、必要に応じて、検察官に対して第1項及び同第2項の(a)、(b)各号に要求される条件の充足について、審判官を満足させるに十分な証拠を得、或いは通訳の手配をするよう指示しなければならない。

第28条

査問会議に於いて、査問に付される者が使用する言語を理解して意志の疎通を図るために、通訳者を必要とする場合には、

- (a) 通訳者は、その者に無料で付けられなくてはならない。
- (b) 査問会議の審判長は、通訳者に対して、その全力を尽して、質問のすべて及び質問に対する回答、査問会議に提出された陳述書並びに査問会議に於いて審判官に提出される一切の書類を正確に通訳し又は翻訳することを宣番させなければならない。

第29条

- (1) 第27条及び第28条に要求される条件が満足された場合に、検察官は査問会議に於いて
- (a) 移民法第20条第1項の(a)に基づく報告が行われ、或いは移民法第27条

第3項に基づく命令が発せられている場合には、審判長に対して、証拠としてその報告又は命令を読み上げ、又その命令の原因となった報告の謄本を提出しなければならない。

(b) その者が移民法第104条第2項により勾引された者である時は、査問会議のために、その者に対してなした申し立てを審判長に通告しなければならない。

(2) 第2項に要求される条件が満足された時は、査問会議の審判長は、査問会議に付された者に対して、査問会議が開かれる理由、その者に対してなされている検察官の申し立て並びに査問会議の予想される結果を知らせなくてはならない。

第30条

査問会議に於いて証言を行う者にはすべて、真実を語り、且つ審判長がその事件に関係あるとして、その者に問う一切の質問に対して最善を尽して答える旨の宣誓をさせなければならない。

第31条

(1) 第29条の条件が満足された時は検察官は自分で適當と思われる証拠を提出しなければならない。審判官は、査問を受ける者に対する申し立てを行うことを許可する。

(2) 査問に付された者又はその弁護人に対して、如何なる証拠も之を調べ、且つ検察官の召喚した証人に対して反対尋問をすべき相当な機会を与えなければならない。

第32条

(1) 検察官が規則第31条第1項に掲げる証拠の提出を完了したる時は、査問に付された者或いはその弁護人に対して、自分で適當と考え且つ審判長の認める証拠を提出する機会が与えられなければならない。

(2) 検察官に対しては、如何なる証拠をも調べ、査問に付せられた者或いはその弁護人の召喚した如何なる証人に対しても反対尋問をする機会を与えなければならない。

第33条

査問に付せられた者又はその弁護人が証拠の提出を完了したる時は、検察官に対して、その提出された証拠に対する、検察官が適正と考え且つ審判長

が認める反対証拠を提出すべき相当の機会が与えられなければならない。

第 34 条

- (1) 第 31 条乃至第 33 条までに記載する条件に拘わらず、審判官は、移民法第 8 条第 1 項及び第 2 項に掲げる挙証責任と事実認定を含む事件のあらゆる面について、適当と認める方法で査問会議に於いて、証拠の提出を求め或いは証拠の援用をすることを許可することが出来る。
- (2) 査問会議に於いて証拠が提出された時は、検察官及び査問に付せられた者又はその弁護人に対して、彼等がその場所に於いて適当と考え且つ審判長認める意見の陳述を行う機会が与えられなければならない。

第 35 条

- (1) 査問会議の審判長は完全にして適切な審理を保証するために、いつでも査問の期日を延期することが出来る。
- (2) 本規則又は移民法第 29 条第 5 項に基づき査問が延期される時は、その査問会議の審判長が、指定した日時及び場所で査問を再開しなければならない。
- (3) 移民法及び規則に基づいて審理を延期した時は、当事者の同意により、又は強固な証拠が未だ提出されていない場合には、延期された査問を担当した審判官以外の審判官によって、その査問を再開することが出来る。
- (4) 査問が延期された場合に於いて強固な証拠が既に提出されて、各当事者が延期された査問の審判長以外の審判長による査問の再開を拒む場合には、その査問は同一審判長の下で継続されなければならない。

第 36 条

- (1) 査問終了の際に、審判長が移動命令又は出国通知を宣言した時は、その命令又は通知には命令又は通知を発した日付並びに審判長の署名が付されていなければならない。更にその理由及び根拠についても明記されていなければならない。
- (2) 査問に付せられた者の出席のもとに移動命令或いは出国通知がなされる時は、その命令又は通知の謄本は、査問に付せられたる本人又はその弁護人に対して個人的に手渡さなければならない。
- (3) 査問に付された者が不在の場合に移動命令又は出国通知が発せられる時は、その謄本は、査問に付せられた者又はその弁護人に個人的に手渡され

るか、或いはそれらの者の知られ得る最も最近の住所に別納普通郵便で送達されなければならない。

- (4) 査問の終了に際して審判官が移動命令又は出国通知のいずれをも発しない時は、審判官は検察官又は当事者の請求によりその決定に至る理由書を提供しなくてはならない。

第 37 条

- (1) 査問が延期され或いは審判官が査問を受けた者に移動命令を発した場合、検察官がその者を勾留或いは引き続き勾留する必要があると判断する場合には、審判長に対してその者を勾留又は引き続き勾留すべき命令を下すよう請求し且つその理由を述べなければならない。
- (2) 第 1 項により勾留又は引き続き勾留する請求があった時は、査問に付せられた本人又はその弁護人は、その請求に対する自己の意見を陳述する機会を与えられなければならない。

第 38 条

移動命令が出された時は、上席移民官は、その者を直接カナダ国外に輸送するか或いはその者を間接的にカナダ国外に輸送する手配をするよう輸送会社に伝えると同時に、その輸送会社に前記趣旨及びこれに要する費用の負担をその輸送人がするか否かに関する事項を明記した通知書を交付しなければならない。

第 39 条

関係する者の書面による請求又は書面による許可により或いは査問に於いてなした決定が関係者の利益のために修正されるであろう場合には、移民法第 35 条第 1 項の規定により、査問会議は、之を審判官により再開することを得る。

難民認定請求の再決定

第 40 条

- (1) 国連協定による難民であることを主張するし且つ移民法第 45 条第 5 項の規定により、主務大臣により、国連協定による難民ではないとの通知を受けた者は、その日より 7 日以内に移民法第 70 条の規定により、書面で不服申立て委員会に対して、難民であるとの主張につき再決定をするよう申請

することが出来る。

- (2) 第1項に記載する再決定の申請は、之を移民官に手交することが出来るが、移民官は、その申請を直ちに不服申立て委員会に付託しなければならない。

身元引き受け保証のある入国許可申請の却下

第41条

移民官が家族区分に当る者の提出に係る身元引き受け保証のある入国許可申請の許可を拒否する時は、移民官は

- (a) 申請を却下する理由が、移民法第79条第1項(a)に掲げる事由によるものである時は、その身元引き受け保証人に対して
- (b) 申請を却下する理由が移民法第79条第1項の(b)に掲げる事由によるものである時には、家族区分者中の者に対して、
拒絶理由の原因となった情報の要約を提供しなければならない。

- (2) 家族区分中に該当する者がなした入国許可の申請が移民法第79条第1項の規定により却下されるものである時は、移民官は、その身元引き受け保証人がカナダ市民である時は、移民法第79条第2項の規定に基づいて不服申立て委員会に不服申立てをする権利を有するものであることを書面により、身元引き受け保証人に対して知らせなければならない。

移動及び勾留の費用

第42条

移動及び勾留に要する費用の決定に際し、その中に包含すべき費用は次のものとする。

- (a) 船舶乗組員の一人として又はその一人になるべくカナダ国に入るも、その乗組む船舶が入港した港から出帆した時に、移民官の許可なくして乗船することを怠った者を探し出すために、カナダ雇用移民委員会が要した費用。
- (b) カナダ国より移動させるべき者の移動に際し、その者の判別に要した費用。
- (c) カナダ国より移動させるべき者の渡航書類手続に要した費用。

- (d) カナダ国より移動させるべき者を移動地点迄の護送に要した費用及び輸送人のカナダ帰国費用。
- (e) 移民法に基づいてなされた勾留の期間中に要した宿泊費、食費、警護の費用、医療費及び入院費。
- (f) カナダ国より移動させるべき者のカナダ国内外で要した輸送費。

写真及び指紋

第 43 条

移民法により入国査証又は移民法第10条に掲げる目的のために許可を得ることを要求される者はすべて、これらの申請に際しては、鮮明で認識可能な申請人本人の写真を2枚提出しなければならない。

第 44 条

- (1) 移民官は移動命令を受けた者に対しては、その何人たるかを問はず、その者の写真を撮影し、又はその指紋をとり或いはその双方を要求することが出来る。
- (2) 移民官は、次の者の身元について確信なき時は、その者に対して、写真の撮影若しくは指紋をとり、或いはその双方を要求することが出来る。
 - (a) 入国査証の申請或いは移民法第10条に掲げる目的のために許可の申請を行う者。
 - (b) 入国許可を求める者。
 - (c) 移民法第16条第1項の規定に基づいて申請をし、或いは
 - (d) 移民法第104条の規定により勾引された者。

旅費融資及び援助融資

第 45 条

- (1) 主務大臣は移住者及び次の者に対して旅費の融資をすることが出来る。
 - (a) カナダ国内に居住するカナダ市民又は永住者で、カナダ国に上陸しようとする、その者の被扶養者のためにカナダ国までの渡航費及び上陸港よりカナダ国内の最終目的地に至る旅費につき、主務大臣に対して経済上の援助を申請した者。
 - (b) 上陸を求めてその許可のある者又は

- (c) 国連協定による難民或いは移民法第 115 条第 1 項(b)により指定を受けた区分中のカナダ国在住の者であって、カナダ国への上陸を求め又はカナダ国に上陸しようとするその者の被扶養者のためにカナダ国までの渡航費及び上陸港よりカナダ国内の最終目的地に至る旅費について、主務大臣に対して、経済上の援助を申請した者。
- (2) 主務大臣はカナダ国永住者、国連協定による難民及び合法的にカナダ国に在って上陸を求める者に対して援助のための融資をすることが出来る。

第 46 条

- (1) 第 45 条の規定により融資貸し付けをする時は第 47 条により、次の各々の場合に該当する日より各月継続して行われる分割払いにより、之を皆済しなければならない。
 - (a) 旅費の融資の場合にあっては、融資を受けた者がカナダ国に到着した月の翌月の初日より開始する。
 - (b) 援助融資の場合にあっては、融資を受ける者に融資金が支給された月の翌月の初日より開始する。
- (2) 第 45 条の規定によりなされた融資は、第 47 条により、最初の支払いが開始される日より、次のそれぞれの期間内に返済することが出来る。
 - (a) 融資の金額が 500 ドル又はそれ以下の場合には 12 ヶ月以内。
 - (b) 融資の金額が 500 ドルを超え 1,000 ドル未満の場合には、24 ヶ月以内。
 - (c) 融資の金額が 1,000 ドル又はそれ以上の場合には 36 ヶ月以内。
- (3) 第 45 条の規定により融資金の貸付けを受けた者の雇用主が、その者に各月に支払われるべき賃金中より控除して貸付金の支払いに当てることを承諾する時は、主務大臣はこの方法による返済を求めることが出来る。

第 47 条

- (1) 融資が第 45 条の規定により、国連協定による難民又は移民法第 115 条第 1 項の(d)の規定により指定された区分に属する者に対してなされる時は、移民官が融資金返済の早期開始が、融資を受けた者又はそのカナダ国居住者及びその被扶養者に不当な困難を強いると判断する場合には、24 ヶ月を超えない期間に限り融資金返済の開始期日を延期することが出来る。

第 48 条

- (1) 第 45 条により第 47 条第 1 項に記載しない者に対して融資を行う場合に

は、その融資には第2項に従い、大臣により直轄企業に対して行われた融資に付き大蔵大臣が設定し且つその融資が認可された年の1月1日現在実行されている率と等しい利率で、その者がカナダ国に到着する日の翌月の初日より計算する利息を付す。

- (2) 第45条の規定により融資を受けながら未だその返済の完了していない者に対して、更に融資を行う場合には、以前の融資に対して支払った利率と同一利率を適用しなくてはならない。

差し押え書類の返還又はその他の処分

第49条

- (1) 第2項の規定により移民法第111条第2項(b)の規定に従って、渡航用或いはその他の書類を差し押えた時は、それらの書類は
- (a) 差し押え処分を受けた者がカナダ国への入国を許可された場合には、その者に直ちに返還する、或いは又
- (b) その者がカナダ国への入国を許可されなかった場合には、出来るだけ早急にその者に返還されなければならない。
- (2) 移民法第111条第2項(b)又は(c)の規定により差し押えた渡航用或いはその他の書類が、その何たるを問わずそれが不正に若しくは誤って差し押えられたものである場合には、正当な所有者又は発給当局に返還されなければならない。
- (3) 渡航用又はその他の書類が移民法第111条第2項(c)の規定により、不正に使われたり不当に使用されるのを防止するために差し押えられたものである場合には、或いは移民法第111条第2項(b)又は(c)の規定により差し押えられた渡航用又はその他の書類の正当な所有者又は発給当局が不明の場合には、それらの書類は破棄することが出来る。

輸送会社の義務

第50条

- (1) カナダ国入国の移住者並びに訪問者を輸送する輸送会社は、通関手続港に出頭する以前に、入国査証を必要とするすべての移住者並びに訪問者が有効な入国査証を有する者であることを保証しなければならない。

- (2) 主務大臣が輸送会社に対して、カナダ市民又はカナダ国永住者でない特定の者が、移民法第19条第1項に記載する区分に属する者であると考え、その旨を通告する時は、輸送会社はその者をカナダ国へ輸送してはならない。

第51条

本法令の定めにより輸送会社又は乗員により保護されることが要求されている者が保護より脱走する時は、その者の保護を委ねられ又は委任された輸送会社或いは乗員は、直ちにその脱走に関する報告書を作成し、移民官に提出しなければならない。

第52条

カナダに入国する乗物の中或いは上に隠れている者がある時は、その乗物の長は、次の措置をとらなくてはならない。

- (a) 乗物がカナダ国内に到着後直ちにその事実を移民官に文書で報告する。
(b) 上席移民官が、その者を釈放する書面による許可を乗物の所有者に与えない限り、その乗物の中又は上にその者を保護しておかなければならない。

第53条

- (1) 外国国籍の船舶で乗組員の数が10人を超える船舶がカナダ国の港湾に入港する時は、その船舶の長は直ちに上席移民官に、乗組員全員の名簿を提出しなくてはならない。
- (2) 第1項に記載する船舶の長は、その船舶がカナダ国の港湾より出帆する時には、上席移民官に乗組員全員の名簿を提出し、第1項により先に提出した乗組員名簿との違いを示すことが出来るようにしなければならない。
- (3) 外国国籍の乗り物のカナダ国到着より出国に至る迄の間、
- (a) 乗組員中、乗り物より下車し入院或いはカナダ国に居住することを願望する者のいる時。
- (b) 乗り物より脱走或いは要求されている時刻に乗り物に帰還することが出来ない者がいる時には
- その乗り物の責任者は、直ちに上席移民官に対して乗組員についてのかかる事実の報告をしなければいけない。

第54条

- (1) 乗組員の数が10人を超えるカナダ国国籍の船舶が、その年、初めてカナダに入国する時は、その船舶の長は直ちに上席移民官に乗組員名簿を提出しなければならない。
- (2) 第1項に掲げる船舶が、その年初めてカナダ国に入港の後再びカナダ国に入港する時に於いて、第1項により提出した乗組員名簿中に変更のある場合には、その船舶の長は、直ちに上席移民官に対して乗組員名簿を提出しなければならない。
- (3) 第1項に掲げる船舶が、その年最後にカナダ国港湾に入港する時は、その船舶の長は上席移民官に対して、乗組員名簿を提出しなければならない。
- (4) カナダ国国籍を有する乗り物がカナダ国に到着の後は、それがカナダ国を出国するに至るまでの間何時にても、
 - (a) 乗組員中、乗物より下車又は下船し入院或いはカナダ国に於ける居住を願望する者がある時。
 - (b) 乗物より脱走し或いは要求された時刻に帰還することが出来ない者がある時は、その乗り物の責任者は、直ちに上席移民官に対して、乗組員についてのかかる事実を報告しなければならない。

死亡者の財産

第55条

カナダ市民又は永住者以外の者がカナダ国に於ける収容所或いはその他の場所で、移民官の監督下に在る間に死亡した時は、上席移民官は

- (a) その者の収容所又は場所に於いてその者に属していた一切の金銭及び個人財産を記載する報告書を作成しなければならない。
主務大臣から、別段の指示を受けない時は上席移民官は
- (b) その者の縁者がカナダ国に在住する事が知られている場合には、その者の金銭及び個人財産並びに前号(a)に記載する報告書の謄本をその縁者に送達して受領を示す文書を受け取らなくてはならない。
- (c) 前号(b)に記載のない場合には、如何なる場合に於いても、死亡した者がカナダ国に入国前その市民或いは居住者であった国の在カナダ国領事事務所に対しその者の金銭、個人財産及び前号(a)に記載する報告書の謄

本を送達し、その受領を示す文書を受けとらなくてはならない。

<別表 I>

第 I 欄	第 II 欄	第 III 欄
要 因	基 準	取得可能 最高点数
1 教 育	初等教育の過程及び中等教育の課程を首尾よく履習修了した者に対して1年の修了年限につき各1点を与える。	12
2 特別な 職業上の 素地	<p>「カナダ国職業分類表」中に記載のある工場並びに現場に於ける実地職業訓練による正規の専門的、職業的訓練の量により測定する。</p> <p>本「カナダ国職業分類表」は第4項により、その者が評価される職業に於いて平均的な仕事を遂行するのに必要な情報、技術及び技能を修得するために必要であるとして、主務大臣の許可を受けて印刷されたものである。評価の点は次のように採点されなければならない。</p> <p>(a) 必要とされる訓練の期間が31日を超えない時は 1点</p> <p>(b) 必要とされる訓練の期間が31日を超えるが3ヶ月を超えない時は 3点</p> <p>(c) 必要とされる訓練の期間が3ヶ月を超え6ヶ月を超えない時は 5点</p> <p>(d) 必要とされる訓練の期間が6ヶ月を超え12ヶ月を超えない時は 7点</p> <p>(e) 必要とされる訓練の期間が12ヶ月を超えるが2年を超えない時は 9点</p> <p>(f) 必要とされる訓練の期間が2年を超え4年を超えない時は 11点</p> <p>(g) 必要とされる訓練の期間が4年を超え10年</p>	15

第 I 欄	第 II 欄	第 III 欄
要 因	基 準	取得可能 最高点数
3 経 験	<p>を超えない時は 13 点</p> <p>(h) 必要とされる訓練の期間が10年を超える時は 15 点</p> <p>評価点は、申請人が第4項により評価を受ける職業上の経験によって採点しなければならない。事業主の場合にあっては、その事業主に資格があり且つカナダ国内に於いて計画する事業についての経験により採点し、採点の方法は次のようにして行われる。</p> <p>(a) 特に必要とされる職業上の準備期間が3ヶ月を超えないものである時は、初年度の実施経験に対して 2 点</p> <p>(b) 特に必要とされる職業上の準備期間が3ヶ月を超え12ヶ月未満の場合、2年を超えない実施経験に対して、1年につき 2 点</p> <p>(c) 特に必要とされる職業上の準備期間が1年を超え4年未満の場合には、3年を超えない実地経験に対して、1年につき 2 点</p> <p>(d) 特に必要とされる職業上の準備期間が4年を超える場合には、実地経験の1年につき 2 点</p>	8
4 職業上の 需要	<p>評価点は、申請人が資格を有し、カナダ国内に於いて就業しようとする職業についてカナダ国内に於ける雇用機会の有無の観点より採点しなければならない。更に、この雇用機会の有無は、地域的及び国家的見地から、労働市場に於ける需要を勘案して決定する。</p>	15
5 手配済み	<p>入国査証係官が次の判断をする時は、10点の</p>	10

第 I 欄	第 II 欄	第 III 欄
要 因	基 準	取得可能 最高点数
<p>の雇用、指定された職業</p>	<p>採点をしなければならない。</p> <p>(a) 申請人がカナダ国内に於ける仕事を既に手配していて国家雇用安定局の提供による情報によれば、その仕事はカナダ市民又は永住者にとっても魅力のあるものであって永続的労働に充分値するもので、企業の継続性、賃金及び労働条件等の点で妥当な見通しを提供するものであること。</p> <p>(b) 国家雇用安定局提供の情報によると、申請人がカナダ国内で雇用されても、カナダ市民又はカナダ国永住者の雇用機会を圧迫する結果にならないこと。</p> <p>(c) 申請人が、その就業に関連して、適用のある連邦、州及びその他の一切の免許及び規則の要件に適合する者であることが確実であると思われること。</p> <p>或いは査証係官の意見によれば、</p> <p>(d) 申請人が指定された職業に従事する資格を有し且つその職業に従事する用意があること</p> <p>(e) 国家雇用安定局の情報によると、指定された職業はカナダ市民又は永住者の興味を喚起し、その職業に彼らを定着させるのに十分な継続性、賃金及び労働条件について相当な見通しのあること。</p> <p>(f) 申請人が指定された職業に従事することについて、適用のある連邦、州及びその他の一切の免許及び規則の要件に適合することが確実であること。</p>	

第 I 欄	第 II 欄	第 III 欄
要 因	基 準	取得可能 最高点数
6 場 所	<p>主務大臣が関係州当局者と協議し、雇用階層中に於けるさまざまなレベルにおける人間や、人口の増加に適応するために必要なインフラを持続的に且つ一般的に必要とする地域として指定した地域に赴こうとする者に対しては5点の評価を加えなくてはならない。</p> <p>他方、かかる地域に指定されていない場所に赴こうとする者には評価点を与えない。</p> <p>主務大臣が関係州当局者と協議の上、雇用階層中に於けるさまざまなレベルにおける人間や、人口の増加に適応するために必要なインフラを持続的に且つ一般的に必要としない地域として指定した地域に赴こうとする者については本表の他のすべての要因に基づいて与えられた評価総合得点中より5点を減じなければならない。</p>	5
7 年 令	<p>18才以上35才未満の者については10点の評価が与えられる。</p> <p>35才以上の者の場合には、10点の最高評価点より、35才を超える年につき、1年につき各1点を減じなければならない。</p>	10
8 英語及び フランス語 の知識	<p>(a) 英語及びフランス語を流暢に読み、書き且つ話す者に対しては、10点の評価点数を与えなければならない。</p> <p>(b) 英語又はフランス語のいずれか一つの言語を流暢に読み、書き且つ話す者に対しては、5点の評価を与えなければならない。</p> <p>(c) 英語及びフランス語を流暢に話し且つ読む者に対しては、4点の評価点数を与えなければ</p>	

第 I 欄	第 II 欄	第 III 欄
要 因	基 準	取得可能 最高点数
9 個人的適合性	<p>ばならない。</p> <p>(d) 英語及びフランス語を流暢に話す者に対しては、評価点 2 点を与えなければならない。</p> <p>(f) 英語及びフランス語を上手に読める者に対しては評価点 2 点を与えなければならない。</p> <p>(g) 英語及びフランス語を読むのが困難な者に対しては評価点 1 点を与えなければならない。</p> <p>申請人との面接の結果、申請人及びその被扶養者が、人間としての適合性、動機、進取の気性、知略、及びその他の類似の性格より判断して、カナダ国に立派に定住出来る者であるとされる時は、評価点数点を与えなければならない。</p>	10
10 縁 者	<p>申請人が許婚者以外の家族区分に属する一員であるか、或いはカナダ国に在る縁者が過去に於いてその申請人の身元引き受け保証の申請がなされた時にはその被扶養者となった者であろうと考えられる場合に於いて、申請人がカナダ国内に定住することに進んで助力する意志はあるが、未だその準備が出来ていないか又は申請人をカナダ国へ呼ぶのに必要な正式の書類手続きを完了していないことを、移民官が納得する時は、評価点 5 点を与えなければならない。</p>	5

<別表 II>

1 次の国の国民

アンドーラ、アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、パハマ、パングラデッシュ、バルバドス、ベルギー、ボリビア、ボツナワ、ブラジル、チリ、コスタリカ、キューバ、キプロス、デンマーク、ドミニカ共和国、エ

クアドル、エル・サルバドル、フィジー、フィンランド、フランス、ガンビア、ドイツ連邦共和国、ガーナ、ギリシア、グラナダ、グアテマラ、ギヤナ、ハイチ、ホンジュラス、アイスランド、インド、アイルランド、イタリア、ジャマイカ、日本、ケニア、レソート、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ、マラウイ、マレーシア、マルタ、モーリシャス、メキシコ、モナコ、ナウル、オランダ、ニュージーランド、ニカラグア、ノルウエー、パナマ、パプア・ニューギニア、パラグアイ、ペルー、ホルトガル、サンマリノ、セイシェル共和国、シエラ・レオネ、シンガポール、スペイン、スリランカ、スリナム、スワジランド、スウェーデン、スイス、タンザニア、トンガ、トリニダード・トバゴ、トルコ、ウガンダ、米国、ウルグアイ、ベネズエラ、西サモア及びザンビア。

- 2 英国及びその植民地の国民で英国に居住権を有する者。
- 3 次の国のいずれか一つの国に於いて出生、血すじにより、又は住民登録するか或いは帰化することにより市民権を得た英国及びその植民地の国民。
ベリーズ、バミューダ、英領ハーシン諸島、カイマン諸島、フォークランド諸島、ジブラルタル、キルバード諸島、香港、モンセラ、ピノトカイン、セントヘレナ、トルコ及びカイコス諸島及びトウバルー又は西インド諸島、アンティグア準州の一、ドミニカ、セントキッツ・ネビス・アンギーア、セントルシア及びセントビンセント。
- 4 法王庁により発給された旅券或いは渡航書類を携帯している者。
- 5 永住の目的で合法的に米国入国の許可を受けた者で、米国より直接カナダ国へ入国する者。
- 6 船舶乗組員であって、カナダ国で海浜休暇をとり又は何らかの合法的かつ一時的目的のためにカナダ国への入国を希望する者、或いは船舶乗組員の一人となるためにカナダ国への入国を希望する者。
- 7 カナダ国通過の旅行者で最高滞在日数4日を超えない者。
- 8 北大西洋条約機構に加盟する国の軍人で北大西洋条約機構の定める書類を提出し、且つその者の同条約の加盟国間の移動についてカナダ国政府の同意のある者。
- 9 アメリカ合衆国の移住者入国査証について米国領事館係官との面接の目的で米国よりカナダ国へ入国する者であって、米国への再入国許可を取得出来

る者であることを、移民官に対して納得させるに十分な証拠を有する者。

<別表Ⅲ>

- 1 ウブサラ農業聖書学校
オンタリオ州、ウブサラ市
- 2 一般熔接学校
オンタリオ州、トロント市チャービス街 61 番地
- 3 モイラー研究所（1958 年設立）
アルバータ州、サスカトーン市テンペランス街 1, 240 番地。

移 民 法 解 説

新 解 説 書

カナダ移民法及び規則の概要

序 文

毎年、数百万人の人達が空港・海港・内陸港・国境線からカナダへ入国している。ある者は、観光客・ビジネスマン・外国人留学生・労働者・その他の旅行者としてやって来る短期の滞在を目的とする訪問者であり、又、ある者は、外国旅行より帰国するカナダ市民や永住者である。更に、移住者達もやって来るが、彼等はカナダを新しい第二の故郷とする目的で入国して来る。

これらの人々はすべて、1978年4月に公布される1976年移民法及び施行規則に表明されている所に従って、カナダ新移民法による影響を何らかの形で受ける人達である。この小冊子の目的は、カナダ市民及びその他の国々の人々が、この新しい法律の主要事項と全体の目的をよりよく理解出来るような形で提供・紹介することにある。

しかし、この小冊子は法学書ではない。法解釈を必要とする読者は、45 Saxe-Cocur Blvd, Hull, Quebec, Canada : Department of Supply and Servicesより入手出来る「1976 Immigration Act and Regulation」(1976年移民法及び施行規則)を参照されること。

1978年4月

1 法令成立の背景－新法の起源

(1) 近代的立法の必要性

カナダは、長い間新しい移民法を必要として来た。1952年に採用された旧移民法は今世紀初めに定められた法律に基いて立法されたものであり、従って、ごく初期の移住者に対する姿勢や社会状況を多分に反映したものであることか理解されよう。

旧移民法には時代遅れの古い規定が数多く含まれていた。即ち、癩病患者や精神病患者等の団体の入国を禁止する措置が定められていたし、国外追放に処すべく厳しい態度をとっていた。更に、国籍、市民権、種族、職業、階級、地理的地域に基づいて移住者を拒絶することも認めていた。こうした規定の大部分は実際には、多年に亘り放棄されては来たものの、少なくとも理論上は、依然として有効であった。

また、旧法令では国際的テロ行為及び組織犯罪による平和と安全に対する脅威を予想していなかった。乗っ取り犯などというものも未だ知られざる危険であったことは言うまでもない。

カナダの新移民法は、これらの諸問題を処理するために必要とされた変更を盛り込み、カナダの移民受け入れ政策及び計画を、カナダの現実と姿勢をふまえた今日的なものとしている。非差別待遇、家族再結合、難民に対する人道主義的配慮、カナダの社会的・経済的・人口統計学的・文化的目標の推進といった基本的原理を中心に書かれている。

新移民法は四年以上にわたって、あらゆるレベルの政府関係者により行われた集中的研究と協力的努力の所産である。そこには、主務大臣に対して提案を行ったり、或いはカナダ全土にわたって各コミュニティで行われた聴聞会や会議に参加したりした何千ものカナダ人個人や諸団体の考え方も織り込まれている。

(2) 立法過程

1973年9月、連邦政府はカナダの新しい移民受け入れの国家的政策策定の第一歩として、移住者受け入れ政策を根底から再検討することを始めた。この再検討の期間中に国家機関、州当局及び一般大衆より提出のあった訴訟事件摘要書や投書が研究され、一括して移住緑書 (the Green Paper

on Immigration) と称する一連の討議書類が作成された。

この録書は 1952 年法の説明を行い、将来の移住者受け入れ計画の直面する国内及び国際的課題を検討したものである。それは、移住者受け入れの目的と政策についての未曾有の国家的論議の焦点となった。

録書の公表に次いで、全国的な聴聞会・会議及びゼミの計画を実行し、且つその結果を国会に報告する上院及び下院特別合同委員会が設置された。この委員会の勧告の 90 パーセント以上が後日、移民法案中に取り入れられ、この法案は 1976 年 11 月 24 日に国会に上程されることになった。

逐条の分析に続き第 2 読会が行われ更に第 3 回、第 4 回の読会がもたれた後、同法案は下院及び上院を通過した。1977 年 8 月 5 日、この法案は総督より国王の裁可を受けて、1978 年 4 月初めに公布の上施行されるに至った。

2 新法の概要－ 1976 年移民法の骨子

1976 年 移民法及び施行規則は新たに数多くの特色ある規定を導入するとともに、それまでずっと有効で役に立っていた旧法令の幾つかの部分の補強・発展させ或いは明確化する等の措置を講ずることにより、カナダの移住者受け入れの政策並びに実践を以前よりも遙かに一層焦点の合ったものになっている。

新しく導入された法令を一べつしてみると、それは次のような点である。

- (1) カナダ国の法制史上初めて、非差別待遇、家族との再結合、難民に対する人道主義的配慮、国家目標の推進と云った移住者受け入れ政策の根底にある基本的諸原則を定めていること。
- (2) 移住の動向をカナダの人口及び労働市場における人的需要と結びつけていること。
- (3) 各州及びその他の団体との協議した上で、カナダが無理なく吸収することが出来る移住者の年間受入れ数の予測を行うという規定を設定したこと。
- (4) カナダ市民が今よりも広い範囲の近親者を引受けられることができるよう「家族区分」を設定したこと。
- (5) 国際連合協定に基く難民に対するカナダの公約と責任を確認して新たに「難民区分」を設定したこと。

- (6) 移住者及び訪問者が国外でビザ或いは入国許可を得ることを義務づけ、更に訪問者がカナダ国内でその滞在資格を変更することを禁止していること。
- (7) カナダを国際テロ行為並びに組織犯罪から守るべく安全措置を講じていること。
- (8) 査問及び不服申立てのシステムを改善することにより、移住者並びに訪問者の市民権を保護していること。
- (9) 軽微な移民法違反事件等に対しては国外追放に代るあまり苛酷でない措置を定めたこと。
- (10) 政府及び政府役人に対して付与せられた権限を明確に記述していること。

3 詳説—新法の細目

以下においては、上に述べた法令の主要点を更に詳細に検討して、この法令が、一方では移住者受け入れ政策並びに手続についての明確なガイドラインを提供するとともに、他方ではカナダの社会的・経済的風土の中において変化を続ける情勢に適応するに十分な柔軟性を持つものであることを見る。

(1) 移住者受入れ数の管理

① 基準の設定

本法令の柔軟性は、カナダへの移住者受入れ数のレベルの管理面において最も明瞭に表われている。

1952年法令では、ある一定の期間内にカナダが問題なく吸収することのできる移住者数はどのくらいかということについては全く触れられていなかった。その結果、年々入国を認められた移住者数は、上は1957年の28万2千人から下は1960年代初めの7万人強という具合に大きな変動幅があった。こうした変動は労働市場計画を立案する上で問題を生じる原因ともなり、いくつかの地域では住宅、学校教育、その他地域社会の公共事業の負担を増大させることになった。

これらの問題の解決の一助として、新法令では、移住をカナダの労働市場の需要、その規模についての長期計画、成長率、カナダの人口の地理的分布状況等と関係づける規定を含んでいる。この法令の第7条は、

主務大臣が各州及びその他の適当な団体や協会と協議をした後、ある特定の期間内にカナダが入国を認める計画のある移住者数を毎年発表することを要求している。

この受入れ目標数は、例えば、失業者が増加したり人口分布に新しい傾向が現われるというような状況の変化に適応できるよう、必要に応じて修正を加えることもできるというきわめて柔軟性のあるものである。

年間の受け入れ水準について理解すべき重要な点の1つは、この水準は、世界全体での制限であって、決して各国への年間移民割り当て数ではないということである。移民事務所を開設することが可能であった地域なら世界中のどこからであっても、同等の価値のある資格証明書を持ってやってくる者は誰でもカナダに定住する平等の機会を与えられるのである。但しそれらの人々が、カナダ政府の選考並びに入国許可規準に合致しなければならないことは言うまでもないことである。

② 各州との協議及び合意

移住者受け入れはカナダの人口増加及び地理的發展に資するところ大であり、地方並びに州計画に対して強い影響力を持ちうる。

このため、新法令の第109条は、国内の各地域における移住者の配分並びに定住に関して連邦政府が各州と協議するための法律上の根拠を与えている。このことは、各地方の必要性と密接に呼応した形で移住者の受け入れを行うことを可能にする。この条文は更に、移住者受け入れ政策並びに計画の、他の点についても連邦と州の間の公式の合意が行われることを可能にしている。

(2) どういう人間がカナダに移住することができるか

本法令中第3条・第5条及び第6条は、カナダへの移住者の入国許可に関する原則は、人種、国籍或は民族、皮膚の色、宗教或いは性を理由とする差別なく適用されると記している。しかし、移住の申請者は、カナダ国外において移住の申請を行い、それに続いて、カナダの生活に適応して定住に成功する能力を評価する目的で作られた共通の基準により選考される所となる。

将来移住する見込みのある人々から毎年数十万にのぼる申請を受けつけ

ているので、広範囲に亘る優先処理制度が確立された。この制度の下では、家族の再結合及び難民に対する同情の原則を守って、直接の家族構成員及び難民は最優先の扱いを受けることになっている。

① 入国が認められる区分

本法令は第6条において、入国が認められる移住者として、3つの基本的な区分を設けている。即ち、家族区分、国連協定による難民、そして自ら進んで申請を行う独立移住者及びその他の移住者である。

1 家族区分

この家族区分というのは旧法時代の被身元引き受け人区分と大体同一であるか、大きな相違点は、カナダ市民は新法の下で、配偶者を失った又は労働することのできない60才を超える者に限らず、如何なる年齢又は如何なる境遇下の両親についても身元引き受け人になることができる点である。

18歳以上でしかもカナダ市民権或いは永住権をもつ者ならば誰でも、家族区分にはいる近親者の身元保証の引き受けをすることができる。この家族区分の下で入国許可の申請を行う資格のある親族の中には、身元引き受け人の

- ・ 配偶者及び配偶者に同行する21才未満の未婚の子
 - ・ 21才未満の未婚の子
 - ・ 60才以上の両親又は祖父母、加えて同行する全ての被扶養者（18才を超えるカナダ市民は、両親の年齢を問わずその身元引き受け人となる事が出来る）
 - ・ 60才未満の配偶者のいない若しくは労働することが出来ない両親又は祖父母、及び同行する全ての被扶養者
 - ・ 18才未満の身寄りのない未婚の兄弟、姉妹、甥、姪、孫
 - ・ 許婚者及び許婚者に同行する21才未満の未婚の子
- が含まれる。

その他、申請適格者としては

- ・ 身元引き受け人が養子とする意志のある孤児、遺棄された子供、又は児童福祉当局の手に託されている13才未満の子供
- ・ 身元引き受け人がカナダに居住する被身元引き受け人をもたず、

又何人の身元引き受け人ともなり得ない場合において、年令や身元引き受け人との関係とは無関係に、縁者一名及び同行の被扶養者がその中に含まれる。

家族区分に属する申請者の評価は点数制度の下では行われませんが、健康及び人格に関する基礎的基準に適合しなければならない。移住者査証の発給前に、カナダに居住する縁者で身元引き受け人となる者は、移住許可申請者及び同行する被扶養者の宿泊、生活の世話及び扶養を10年の期間に亘り提供することを約束する供述書に署名することか要求されている。

II 国連協定による難民

この新しく創設された区分は難民の地位に関する国際連合協定並びに議定書中の次の定議をその基礎としている。即ち、「協定による難民」とは人種、宗教、国籍、特定の社会団体のメンバーであること又は政治的意見を理由として迫害を受ける恐れが充分ある場合で

- (a) 自分が国籍をもつ国の外にあって、その国の保護を利用することが出来ない、又は上記の恐れからこれを利用することを憚る者
或いは
- (b) 国籍をもたず、その以前の常住の国の外にあって、その国へ帰還することが出来ないか若しくは、上記の恐れから、帰還することを憚るすべての者

とある。

難民区分を創設したことに加えて、本法令は、国内法中で、国連協定による難民の保護というカナダの国際的義務を確認している。

本法令中第45条乃至第47条及び第55条に反映される国連協定の主たる規定は、

- ・法的にカナダにある国連協定による難民は、国家の安全若しくは公の秩序にとって脅威とならない場合には移動させられることがない。
- ・国連協定による難民を移動させる如何なる決定も法律の適正なる手続に従ってなされなければならない。
- ・彼らがカナダの安全にとり危険であるか或いは重大なる犯罪によ

って有罪とされる場合を除き、国連協定による難民は、人種、宗教、国籍、政治的意見或いはある特定の団体の会員であることを理由としてその生命又は自由を脅かされる国へ移動させられることはありえない。

とすることを定めている。

カナダ国内に再定住を求める国連協定による難民は、独立の移住許可申請者の選考に使用するのと同フアクターによる評価を受けるが、点数式採点評価は受けない。それに代り、カナダの生活にうまく適応して行く一般的能力の評価を受ける。これと、カナダにおいて政府或いは私的団体から彼等に与えられる定住のための援助の量により、彼等がカナダへ難民区分の下に入国を許されるか否かが決定される。

選考の過程において彼等への援助が考慮されるためには、国連協定による難民のカナダ入国或いはカナダ定住のための援助を申し出る非政府機関は、彼等に対して食糧及び保護を一年間の間提供することを約束しなければならない。

国連の定義の下では手続技術上難民としての資格を与えられないが、迫害を受け祖国を喪った人々が世界中には数多くいることを認識して、本法令中第6条は、危機にのぞんで、これらの人々に対して緩和された選考基準の下に入国の許可を与えることによりカナダの人道主義的伝統を反映している。これは、キプロスの内乱で影響を受けた人々を始め、ウガンダ系アジア人、レバノン人といった団体の入国を許可した政策を法令中にとり入れたものである。

III 独立及びその他の移住者

入国許可の対象となる第三区分に該当する移住者は旧法令における被指名者及び独立者区分に相当し、被扶養縁者、退職者、事業主、自営業の従事者、及びその他の自己の自発的意志に基づいて移住許可の申請を行う独立の移住者等をその中に含む。

被扶養縁者とは家族区分の該当者以外の者であってカナダでの定住のための援助を喜んで行う親族をカナダに有する者をいう。この範疇に属する者として入国許可申請を行う資格を有する縁者はカナダに居

住する者の兄弟、姉妹、父母、祖父母、子供及び孫、叔父及び叔母、甥、姪及びこれらの縁者に同行する被扶養者である。

事業主として移住しようとする者は、カナダ市民若しくはカナダの永住者を5人或以上雇用する事業を經營する意図を有し且つその事業につき支配的利害関係を打ち立てることが出来なければならない。一方自営業に従事する者とはカナダ国居住者を5人或以上以下雇用する事業を設立することを意図し或いはカナダの文化及び芸術生活に貢献するであろう者をいう。退職者としての資格を得るには、最低55才の年齢でカナダに於いて仕事をする意志のない者でなければならない。

退職者の場合を除き、この区分に当たる移住者は点数制の選考基準による評価を受ける。

② 点数制度

新法令第115条により認められ点数制の項に詳細に扱われている移住者選考基準は従来の立法と殆んど同一であるが、各種要因の構成及び評価の比重を改定し移住者の受け入れをカナダの労働市場の需要により一致するようにした。実地訓練、経験、能力等により重点をおき、その結果、雇用関係の要因が採点評価の全体の殆んど半分を占めるようになった。

独立の移住許可申請者の一人一人が10項目より成る選考基準のすべてを満足させなくてもよい。申請者はカナダにうまく定住することが出来る能力に実際に関係のある要因によってのみ評価を受ける。例えば、カナダで雇用の創出を行う事業主は、職業上の需要或いは手配済みの雇用関係の要因について評価を受けない。又、自営業に従事するつもりでいる移住者は手配済みの雇用に関する要因を満足させることが要求されていない。事実、査証係官がカナダで事業に首尾良く定着するとの感想をもつ自営業の従事者は誰でもが10点の採点を加算される。

被扶養縁者は、手配済みの雇用関係の有無、場所、言語等による評価は受けない。なせなら彼等は、彼等を5年間の間扶助することを約束する供述書に署名した縁者をカナダに有しているからである。

又、退職者は、この第3区分の一部と考えられるが、点数評価基準に

基づく評価を受けない。代って、彼等はカナダ国内に於ける予定の目的地、彼地に於ける友人・縁者の存在の有無、言語熟達度、個人的適応性及び経済的安定性に関する一般的判断基準の下で選考される。第3区分に属するその他の移住者はすべて点数制の全要因についての採点評価を受ける。

カナダへ永住者としての入国許可を得るためには、点数制により選考されるすべての移住者は最低限の評価点は受けなければならない。事業主の場合、少なくとも25点をもらわなければならない。被扶養縁者の場合には、彼等への助力を約束したカナダ居住者との関係により、20点及至35点を獲得しなければならない。本点数制で採点評価の対象とされる他のすべての申請者は、移住者査証の発給を受ける以前に、100点満点中50点をとっておかなければならない。

最低得点数に加えて、移住許可申請者は職業上の経験、職業的需要要因等に関する必要条件を満足しなければならない。例えば、職業上の経験要因で最少限1点もとれなかった申請者はカナダに、前もって手配済みの仕事をもっているか、未経験労働者を雇い入れる意志を表明する将来の雇主の署名入り供述書を所有しているか、或いは又指定された職業に従事する資格と用意（カナダの一地域にあってその職業に従事する労働者の不足があるとされている職業）があるものでなければならない。

更に、事業主と自営業従事者の場合を除いて、点数制の下で選考される移住者は、カナダに手配済みの仕事をもものであるか或いは指定された職業に従事する意志をもつものである場合の他は、職業上の需要では少なくとも1点を与えられなければならない。

同規則に基く次の図は点数評価制の要約を示す。

＜ 移住者選考基準 ＞
 - 点数評価制の要約 -

要 因	選 考 基 準	最 高 点	被適用区分			
			自 営 業	事 業 主	被 扶 養 縁 者	そ の 他
1.教 育	初等及び中等教育各学年終了毎に1点	12	×	×	×	×
2.特別な職業上の素地	申請者が要因の第4項において評価を受ける職業において平均的な仕事を遂行するのに必要な正規の専門的職業的な見習期間や工場内或いは現場における訓練の量により判定される。	15	×	×	×	×
3.経 験	申請者が要因の第4項において評価を受ける職業上の経験により与えられる得点。事業主の場合は資格を有しかつカナダ国内において計画する事業についての経験により与えられる得点。	8	×	×	×	×
4.職業上の需要	申請人がその資格を有しかつカナダにおいて従事する用意のある職業について、カナダにおける雇用機会の有無に基づいて考えられる得点	15	×		×	×

要 因	選 考 基 準	最 高 点	被適用区分			
			自 営 業	事 業 主	被 扶 養 縁 者	そ の 他
5 手配済の雇 用又は指定 された職業	継続性につき相当の期待を提供しか つ労働及び賃金につきその地方の条 件に適合するような仕事をカナダに おいて手配済である場合には10点が 与えられる。但しその者の雇用がカ ナダ市民や永住者の雇用機会を妨害 せずしかもその者が免許及び規則上 の全ての要求事項を満足するもので あること、或いはその者が指定され た職業について資格を有しかつその 職業に従事する準備をしておりしか もカナダ市民及び永住者に関する部 分を除いて手配済の雇用について記 載された全ての条件に適合するもの であることを条件とする。	10				×

家族区分に属する者及び退職者はこれらの基準による選考を受けない。
 国連協定による難民については、第1欄に列挙する要因に対して評価を
 行うか、採点評価は行わない。

要 因	選 考 基 準	最 高 点	被 適 用 区 分			
			自 営 業 主	事 業 主	被 扶 養 者	そ の 他
6 場 所	雇用階層中のさまざまなレベルにおける持続的かつ一般的な人間への需要や人口増加を調節するために必要なサービスを有していると認定された地域に赴くことを意図している者に対しては5点が与えられる。かかる需要もサービスもないと認定された地域に赴くことを意図する者からは5点が減じられる。	5	×	×		×
7 年 令	18才から35才までの者には10点。35才を超える者については、35才を超える年齢について最高点の10点から1年につき1点ずつ減じられる。	10	×	×	×	×
8 英語及びフランス語の知識	英仏2ヶ国語とも流暢に読み書き話す者には10点。一方だけを流暢に読み書き話す者には5点。英語又はフランス語の知識・能力の劣る者には得点は与えられない。	10	×	×		
9 個人的適合性	その者及びその被扶養者がカナダにおいてうまく定着できるかどうか。適合性を判定するための面接に基づき、その者の適応性、動機づけ、進	10	×	×	×	×

要 因	選 考 基 準	最 高 点	被適用区分			
			自 営 業	事 業 主	被 扶 養 縁 者	そ の 他
	取の気性、資力及びその他の類似の 資質をもとに点数を与える。					
10 縁 者	その者が被扶養縁者である場合にお いて、カナダ在住の縁者がその者の 援助を引きうけ、かつ移民官もカナ ダ在住の縁者がその者の定着に進ん で力を貸す意思があるものの未だそ の準備ができていないか又はその者 をカナダへ連れてくるのに必要な正 式の書類手続を完了していないこと を納得するときは5点を与えられる。	5	×	×		×

家族区分に属する者及び退職者はこれらの基準による選考を受けない。
国連協定による難民は第1欄に掲げる要因に対して評価を受けるが、採
点による評価は受けない。

(3) 訪問者と本法令との関係

① 査証と許可

外国人学生、臨時労働者、観光客、商業旅行者、その他合法的目的で
カナダを訪問する人々は新法令下に在っても第5条、及び第14条の規定
により引き続き歓迎される。但しある種の訪問者については、入国に際
して訪問者用査証が要求される。更に、同第10条の規定により、カナダ
へやって来る外国人学生及び臨時労働者の大部分の人達が特別の許可と
査証の双方を持っていることが要求されている。

在外カナダ政府機関にて査証規則により如何なる影響を受けるかについて調べておくことは、将来カナダを訪れようとする人達の責任でもある。殆んどの場合には、査証や許可を必要とする人達は在外カナダ政府機関よりカナダ入国前にそれらを入手しておかなければならない。

外国で査証の申請を行う場合には、訪問者になろうとする者は有効な旅券又はその他の認のある渡航関係書類を移民官に提示する用意が出来ていなければならない。更に、就学許可の申請をする者は、大学、高等専門学校、又はその他の学問の機関に受け入れられていることを示す証拠となる書類を提示し且つカナダで勉学中自活するに十分な額の金額を所持していることを証明出来なくてはならない。臨時労働者は、就労許可書の交付される以前に、カナダ市民や永住者によっては満たすことの出来ない仕事をカナダ側雇用者から提供されることを真正に示す文書を提出しなければならない。

② 資格の変更

入国許可のあった後は、訪問者は普通その入国資格を変更することが出来ない。例えば観光旅行者として入国を許可された者は、職についたり、学生となったり、或いは永住者となったりすることは出来ない。同様に、臨時労働者は職種を変更したりすることは出来ず、外国人学生も事前の変更許可をまず第一に申請してからでないと学校又は課程を変更することが出来ない。又、許可された滞在期間を過ぎて後カナダに滞在する訪問者はすべて法令の違反者となり移動処分の対象とされることになる。

(4) 入国地点で行われる手続

① 面接と検査

本法令第12条の規定に従い、訪問者、移住者、帰国する居住者等カナダ入国を求める者はすべて、入国地点で移民官による尋問を受ける。永住者たる資格を求める移住者或いはカナダで一時的に勉学若しくは労働をする意志のある訪問者の場合には、入国許可が下附される以前に、より詳細にわたる面接や健康診断が要求される。

査証及び許可、或いはそのうちのいずれか一つを持っていることはカ

ナダ入口許可を保証するものはないことに注意すべきである。即ち、入国地点の審査官が、所持査証が有効であること、査証及び許可が交付されて以来、本人に関する事情に変化のなかったこと、そして訪問者がカナダに居ることが移民法及び規則の規定中いずれの規定にも違反しないこと、等の点について満たされていることを認めなければならないのである。

② 保証金

訪問者が入国許可の条件に従って生活するという意図に関して疑いのある時は、訪問者或いはその者の代りに行動する代理人が一定額の金銭或いはその他の担保の供託をして許可条件を遵守すべきことを保証する場合に限り、審査官は入国を認めることが出来る。この担保物はすべての入国許可条件が履行された後すみやかに返還される。

③ 入国が認められない区分（入国不許可区分）

本法令中第19条は公衆の衛生、安全、秩序若しくは国家の安全に対して脅威を与える人々の入国を認めることを禁止している。又、選考基準に適合しなかったり、はっきりした自活手段及び有効な渡航関係書類を所持すると云ったその他の要求事項を満足出来ない人々も同じく入国を拒否される。

新法は前法令中に存在した入国禁止区分の多くを廃して、時代に適する条件及び態度を反映する客観的基準を導入した。例えば、健康を理由に排除される場合は、新法では、公衆の衛生或いは安全に危険がある場合、若しくはカナダの保健・社会サービスに対する過度の要求がある場合に関し、拒絶する理由があるとされている。

カナダ国の法律により同様の犯罪に対して与えられるべき刑罰に基づき、且つ復権後の入国許可の可能性を考慮に入れて、犯罪を理由として入国不許可の決定をする客観的審査基準が新たに設けられた。

本法令の第19条は組織犯罪に加担した者及びテロ行為並びに航空機等の乗っ取り犯の危険性ある人物の排除若しくは移動を規定することによりカナダ国民を保護している。

④ 不法移住者の取り締まり

カナダに不法に居住し或いは就労する目的で訪問者としてカナダにや

って来る人々の意図をくじくため、本法令の第10条では、カナダで就労したり或いは就学することを望んでいる大半の訪問者がカナダ入国許可を求める以前に外国に駐在する査証係官から許可を得ることを要求している。極く少数の例外はあるが、既にカナダ国内に在る訪問者は求職の申し込みを行ったり、学校教育機関へ在籍したりすることは許されていない。かかることをする訪問者はカナダより退去することを求めることが出来る。

更に、カナダの雇用主がこの国で労働する許可のない者を、それと知りながら雇い入れることは一つの法令違反行為となる。これはカナダ社会保険番号制度とも連結していて、この制度によると、カナダ市民及び永住者でない人々が見分けられ、こうすることにより、そのような人々がカナダで合法的に仕事をするためには有効な就労許可書を所持していなければならないことを使用人に警告することになる

15) どういう人間が国外退去を求められるか

査証若しくは許可の条件を履行しない或いは移民法及び規則及び他のカナダの法律に違反している臨時労働者、学生、その他の訪問者及び永住者にはカナダより退去することを求めることが出来る。

1) 国外退去及びそれに代る処分

1976年法令はカナダから人々を追放する手段としての国外退去を維持しているが、第20条、第32条及び第57条では比較的苛酷でない2つの処分、即ち排除命令並びに出国通知を導入している。

このことは、身分証明書が不適當或いは不完全という類の軽微な違反があったと云う理由で人を国境に於いて国外へ追放することをやらずに移民官はその者が自らの意志で国外に退去することを認めるか、或いは排除命令の請求をして、一年間はその者の入国許可を禁じることが出来るということを意味する。或いは又訪問者が既にカナダに在って移民法の軽微な違反を犯した場合には、国外退去命令に代えて出国通知を出すことが出来る。出国通知の条件をその者が満たした場合は、出国通知に何らそれ以上の効力はなく、その者は何時にても、入国のため再申請をすることが出来る。

国外退去—（主務大臣により取り除かれた場合を除き）将来の入国に

に対する恒久的禁止一は、新法令中では、移民法或いはその他のカナダ国法に重大な違反を行った者に留保されている。

② 永住者資格の喪失

新法令の第4条の規定により、永住者（上陸は許可されているが未だカナダ市民になっていない者をいう）は一時的に出国の後も、カナダに再入国し滞在する権利を保有する。しかしながら、第24条に規定がある如く、移民法の下で国外退去に相当する犯罪を犯し或いはカナダに於ける居住権を放棄することにより、この権利を喪失することもありうる。

永住者が、いずれかの12ヶ月の期間内のうち合計183日以上をカナダ国外で暮らす場合、カナダを放棄する意志のなかったことを移民官に対して納得させることが出来ない場合にはカナダでの居住権を放棄したものと推定される。長期間に亘り、カナダを離れて旅行し、勉強し或いは商用でカナダを離れる永住者は、本法令第25条中に規定する居住者帰国許可の申請を行うことを勧告されている。

居住者帰国許可書の所有は強制されないが、これを国境で提示する場合には、そうでないことを証明する証拠がない時は、その所持者についてカナダに於ける永住権の放棄を意図しなかったと云うことの証明として認められる。カナダ国外にて183日を経過した後、許可書をもたないで帰国する居住者はその永住者資格を失い、或いはカナダへの再入国を拒絶されることになる。

(6) 査問と不服申立て

① 審判官の役割

カナダへの入国を拒絶され或いは一旦カナダを退去するよう求められた者は何人も移住査問会議にて審理を受ける権利を有する。本法令第23条、第27条及び第28条に於いて認められるかかる査問会議は、移民及び民事並びに刑事法中の関連ある要素について特別の訓練を受けて移住問題の審理を行うために任用されている係官である審判官により進められる。

政府側の検察官と事件に関係する者双方の提出する証拠を注意深く比較衡量した上で審判官は移民法及び規則の規定に従い客観的な決定を下

す。

本法令第32条の規定により、審判官が査問会の被査問者に有利に裁定をする時は、その者はカナダに入国滞在することが許される。

一方、逆に被査問者に不利な決定が出る時は、審判官はその者に対して国外退去命令、出国通知或いは排除命令を出す。この場合には、当事者は審判官の決定を不服として移住不服申立て委員会に不服申立てを行う。

② 移住不服申立て委員会

新法令の第59条は州総督により任命される7及至18名からなる団体で移住に関するすべての不服申立てを審理決定する責任を課せられている移住不服申立て委員会の独立した地位と機能を保護しているが、不服申立て制度と同委員会の構成に若干の変更が加えられた。

本法令第72条の規定に基づき、カナダへの入国許可を求めている者であって有効な移住者又は訪問者査証を所有する者は誰でも入国港で発せられた移動命令を不服として不服申立てをすることが出来る。本条の規定は更に国連難民及び永住者に対しても排除若しくは国外退去命令を不服とする不服申立て権を付与している。

79条はカナダ市民が、身元引き受け保証人となった家族区分中の縁者の入国拒絶を不服として不服申立てすることを認めている。70条の規定により、主務大臣より難民の資格を否認された者は、移動命令に対する不服申立てとは全く別個に、不服申立て委員会に対して、その資格の再決定を求めることも出来る。

③ 特別保安規定

近年に於ける国際的テロ行為及び組織犯罪の増大はカナダの安全に対して新たな重大な脅威を与えて来た。そこで、1976年の法令第39条及至42条は公の秩序及び国家の安全を破壊する恐れのある者の排除若しくは移動を許す規定を導入している。

移住に責任をもつ主務大臣及びカナダ法務次官が、訪問者若しくは移住しようとする者が破壊的、犯罪的或いはテロ的活動に連座しているとの情報を得、若しそうすれば、国家の安全及至は情報源が危険にさらされる恐れがあるとの理由で、その情報を公開の査問会議の席で公表出来

ない時は、共同してその趣旨の証明書を提出することが出来る。その証明書が審判官により真正なりと認められると、当該証明書は移動命令を発するのに十分な証拠となる。同法令は、かかる大臣作成の証明書の使用は国会に報告されなければならないことを要求している。

永住者に関する保安規定には特別の保護措置が含まれている。大臣及び法務次官が共に、その所有に係る秘密情報が公表しないものであると確信していて、且つその情報により永住者が、破壊行為、重大な犯行或いはテロ行為の理由で移動の対象となるとの確信のある時は、両者は、その旨、新たに設けられた三人の委員より成る特別諮問委員会に報告することが出来る。

この三人委員会（そのうちの一人は退官した、最高裁判所の元判事でなければならない）は情報の再検討を行い、関係者に審理の機会を与え内閣に対してその者を国外に追放すべきか否かにつき勧告をする。永住者に対しては、最も重大な場合にのみ、この手続が発動される。

(7) 法及び秩序の防衛

① 法令違反と罰則

本法令の第95条は有罪との判決に基き、罰金、懲役刑若しくはその双方により罰せられるべき特定の移民法違反を列挙している。例えば、移民官に報告をしないで入国港以外のどこかの地点に於いてカナダに入国すること或いは偽造の若しくは不正に入手した旅券、査証或いはその他の書類の使用により入国許可を取得しようとしたりすることは、いずれも違反行為である。入国が許可された条件に違反したり或いは移住の審査又は査問に於いて、知っていながら、虚偽若しくは誤解しやすい陳述をすることもまた違反行為となる。

又、既に述べたように、カナダの雇用主がカナダの市民若しくは永住者ではなく、しかもカナダ国内で適法に働くことが認められていない者を、それと知って雇い入れることも重大な違反行為となる。

② 勾引及び勾留

移動命令の審査、査問或いは執行を待っている者で、副大臣又は上級移民官の意見において、一般公衆に対し危険を与え若しくは出頭しないこ

あろうと思われる者は勾引して、移住審判手続が開始するまで勾留することが出来る。

4 結 語

如何なる移住者受け入れ政策に於いても、これを受け入れる国の側と、移住者又は訪問者の側とに義務が存在することを認める 1976 年移民法は公明正大な法律であるとカナダ政府は信じている。同法令の下に、カナダは移住者と訪問者の双方を共に歓迎し、一たび永久居住者になれば、移住者はカナダで生まれ育ったカナダ人と同一の機会を有することを保証する。

しかし同時に、この法令はカナダの利益のために作用する。移住者の受け入れ数と配分を国家的且つ地域的人口達成目標と労働市場の需要に一段と近密に関係づけ、カナダ居住者の健康と安全を、それを脅す者から保護するために……………

5 用語の定義－移係関係語彙註解

- ・審判官－公務員採用法により採用され移住に関する審理の統轄に当る者。
- ・被扶養縁者－家族区分に属する者を除きカナダに定着することに進んで助力・援助する親族がカナダにいる者。（縁者の該当者については「入国を認められる区分」の項を参照のこと）
- ・許可－「就労許可」及び「就学許可」を参照
- ・カナダ市民－カナダで生まれた者及び國務省を通じて申請をし市民権証書を授与された者
- ・国連協定による難民－次の国連の定義に当てはまる者 人種、宗教、国籍、特定の社会的団体に属するメンバーであること或いは政治的意見を理由に、迫害を受ける恐れが充分にあるという理由により、(a)その国籍のある国以外の所において、その国の保護を受けることが出来ないか又はかかる恐れがあるために、受けることを好まない或いは(b)国籍のある国をもたず、その従前に常住していた国の外において、その国へ戻ることが出来ないか或いは前記の恐れがあるために、戻ることが好まない者
- ・指定された職業－関係ある州当局との協議の上で、主務大臣により、その職業に従事する労働者の供給がとほしい地方又は地域に指定されたカナダ

の地方又は地域に於ける職業

- ・ 出国通知－移民法の軽微な違反を犯したカナダ滞在の訪問者に対して発せられる通知で、その者にカナダより立去ることを求めるが、入国のための再申請を認めているもの
- ・ 被扶養者－カナダへの移住者となろうとする者或いは訪問者の配偶者及び21才未満の未婚の子
- ・ 国外退去命令－カナダ国法律に重大な違反を犯した者に発せられる移動命令で、大臣の同意に依り撤回される場合を除いてカナダへの将来の入国を永久に禁じる命令
- ・ 就労許可書－移民官の発する書類で訪問者がカナダで一時的に働くことを認める。
- ・ 事業主－カナダに於いて5人或いは5人以上のカナダ市民又は永住者を雇用する事業の経営を意図し、且つその事業に於て支配的利害関係を打ち立てる能力をもつ移住者
- ・ 排除命令－文書不備等の軽微な違反を理由に国境に於いて発せられる移動命令で、一年間入国再申請が許されない。
- ・ 家族区分－カナダ国に身元引き受け保証人があり、その身元引き受け保証人と近い縁者より構成される入国許可の対象とされる移住者の区分
- ・ 移住者－カナダに上陸を求める者
- ・ 上陸－永住をなすべくカナダへ入国するための合法的許可
- ・ 永住者－上陸資格を付与されながらもカナダ市民となっていない者
- ・ 難民－「国連協定による難民」の項参照
- ・ 移動命令－カナダを立ち去ることを要求する排除又は国外退去命令
- ・ 退職者－年齢55才以上の移住者で、カナダに於いて仕事を求めず又雇用にも応じる意思のない者
- ・ 自営業に従事するもの－カナダに於いて5人以下のカナダ市民又は永住者を雇用する事業を設立する意図のある、若しくはカナダの文化、芸術生活に貢献するであろう移住者
- ・ 身元引き受け保証人－家族区分の中の者がなした上陸申請を保証する者
- ・ 就学許可書－移民官の発する文書で、訪問者がカナダに在る大学、高等専門学校又はその他の教育機関で、学問的・専門的或いは職業的訓練を受け

ることを認めるもの

- ・訪問者—合法的にカナダに在るカナダ市民又は永住者以外の者で、一時的
目的でカナダに来ることを求める者

the Imigration Act, 1976

THE HOUSE OF COMMONS OF CANADA

CHAMBRE DES COMMUNES DU CANADA

BILL C-24

BILL C-24

An Act respecting immigration to Canada

Loi concernant l'immigration au Canada

Her Majesty, by and with the advice and consent of the Senate and House of Commons of Canada, enacts as follows:

Sa Majesté, sur l'avis et du consentement du Sénat et de la Chambre des communes du Canada, décrète:

SHORT TITLE

TITRE ABRÉGÉ

1. This Act may be cited as the *Immigration Act, 1976*.

1. La présente loi peut être citée sous le
5 titre: *Loi sur l'immigration de 1976*. 5

INTERPRETATION

INTERPRÉTATION

2. (1) In this Act,
"adjudicator" means a person appointed or employed under the *Public Service Employment Act* for the purpose of carrying out the duties and functions of an adjudicator under this Act;
"admission" means entry or landing;
"Board" means the Immigration Appeal Board established by section 59;
"Canadian citizen" means a person who is a citizen within the meaning of the *Citizenship Act*;
"Chairman" means the Chairman of the Board;
"Convention refugee" means any person who, by reason of a well-founded fear of persecution for reasons of race, religion, nationality, membership in a particular social group or political opinion,
(a) is outside the country of his nationality and is unable or, by reason of such fear, is unwilling to avail himself of the protection of that country, or

2. (1) Dans la présente loi
«admission» désigne l'autorisation de séjour ou le droit d'établissement;
«agent des visas» désigne un agent d'immigration en poste à l'étranger et autorisé par ordre du Ministre à délivrer des visas;
«agent d'immigration» s'entend de la personne nommée ou désignée en vertu de l'article 110;
«agent d'immigration supérieur» s'entend de l'agent d'immigration désigné à ce titre par ordre du Ministre pour exercer les fonctions prévues à la présente loi;
«arbitre» désigne l'arbitre en matière d'immigration nommé ou employé conformément à la *Loi sur l'emploi dans la Fonction publique* pour exercer les fonctions prévues à la présente loi;
«autorisation de séjour» désigne l'autorisation accordée aux visiteurs;
«avis d'interdiction de séjour» désigne l'avis visé au paragraphe 32(6);

- (b) not having a country of nationality, is outside the country of his former habitual residence and is unable or, by reason of such fear, is unwilling to return to that country;
- “departure notice” means a notice issued pursuant to subsection 32(6);
- “deportation order” means a deportation order made under any of subsections 32(2), (5) or (6), 37(5) or (6), 40(10), 75(2) or 76(1) or (3);
- “Deputy Minister” means the deputy head of the department under which this Act is administered;
- “employment” means any activity for which a person receives or might reasonably be expected to receive valuable consideration;
- “entry” means lawful permission to come into Canada as a visitor;
- “examination” means an interview conducted by an immigration officer of a person seeking to come into Canada at a port of entry;
- “exclusion order” means an exclusion order made under any of subsections 32(5), 37(5) 75(2) or 76(1) or (3);
- “family” means the father and mother and any children who, by reason of age or disability, are, in the opinion of an immigration officer, mainly dependent upon the father or mother for support and, for the purpose of any provision of this Act and the regulations, includes such other classes of persons as are prescribed for the purpose of that provision;
- “immigrant” means a person who seeks landing;
- “immigrant station” means any place designated by the Minister for the examination, treatment or detention of persons for any purpose under this Act;
- “immigration officer” means a person appointed or designated as an immigration officer pursuant to section 110;
- “inadmissible class” means any of the classes of persons described in section 19;
- «catégories non admissibles» ou «personnes non admissibles» désigne les personnes visées à l'article 19;
- «citoyen canadien» a le sens que lui donne la Loi sur la citoyenneté;
- «commissaire» désigne un membre de la Commission;
- «Commission» désigne la Commission d'appel de l'immigration instituée par l'article 59;
- «droit d'établissement» désigne l'autorisation d'entrer au Canada pour y établir une résidence permanente;
- «emploi» désigne toute activité rétribuée, ou raisonnablement susceptible de l'être;
- «examen» désigne l'entrevue qu'un agent d'immigration fait subir à une personne qui se présente à un point d'entrée dans le but d'entrer au Canada;
- «famille» désigne le père et la mère ainsi que les enfants qui, de l'avis d'un agent d'immigration, sont principalement à la charge de l'un ou l'autre en raison de leur âge ou d'une incapacité et, pour l'application d'une disposition donnée de la présente loi et des règlements, s'entend également des autres catégories de personnes prescrites aux fins de cette disposition;
- «immigrant» désigne la personne qui sollicite le droit d'établissement;
- «médecin» désigne un médecin agréé ou reconnu par ordre du ministre de la Santé nationale et du Bien-être social, pour exercer les pouvoirs que la présente loi confère aux médecins;
- «membre d'équipage» désigne le responsable et le personnel affectés à un véhicule;
- «Ministre» désigne le membre du Conseil privé de la Reine pour le Canada désigné par le gouverneur en conseil pour agir en qualité de Ministre aux fins de la présente loi;
- «ordonnance de refoulement» désigne l'ordonnance rendue en vertu du paragraphe 13(1);

- "landing" means lawful permission to come into Canada to establish permanent residence;
- "master" means the person in immediate charge or control of a vehicle;
- "medical officer" means a qualified medical practitioner authorized or recognized by order of the Minister of National Health and Welfare as a medical officer for the purposes of this Act;
- "member" means a member of the Board;
- "member of a crew" means any person, including a master, who is employed on board or forms part of the staff or crew of a vehicle;
- "member of the family class" means a person described in the regulations as a person whose application for landing may be sponsored by a Canadian citizen or by a permanent resident;
- "Minister" means such member of the Queen's Privy Council for Canada as is designated by the Governor in Council to act as the Minister for the purposes of this Act;
- "owner", in respect of a vehicle, includes the agent of the owner of the vehicle and any other person having any interest in respect of the vehicle;
- "permanent resident" means a person who
- (a) has been granted landing,
 - (b) has not become a Canadian citizen, and
 - (c) has not ceased to be a permanent resident pursuant to subsection 24(1);
- "permit" means a subsisting permit issued under subsection 37(1);
- "port of entry" means any place designated as a port of entry by the Minister for the examination of persons under this Act;
- "prescribed" means prescribed by regulations made by the Governor in Council;
- "rejection order" means an order made under subsection 13(1);
- "removal order" means an exclusion order or a deportation order;
- «*ordonnance de renvoi*» désigne l'ordonnance d'exclusion ou d'expulsion;
- «*ordonnance d'exclusion*» désigne l'ordonnance rendue en vertu des paragraphes 32(5), 37(5), 75(2), 76(1) ou (3);
- «*ordonnance d'expulsion*» désigne l'ordonnance rendue en vertu des paragraphes 32(2), (5) ou (6), 37(5) ou (6), 40(10), 75(2) ou 76(1) ou (3);
- «*permis*» désigne un permis en cours de validité, délivré en vertu du paragraphe 37(1);
- «*personnes appartenant à la catégorie de la famille*» désigne les personnes à qui les règlements reconnaissent le droit de faire parrainer la demande de droit d'établissement par un citoyen canadien ou un résident permanent, appelé le répondant;
- «*point d'entrée*» s'entend des lieux désignés par le Ministre pour l'examen des personnes en vertu de la présente loi;
- «*poste d'attente*» s'entend des lieux désignés par le Ministre aux fins d'examen, de traitement ou de détention pour l'application de la présente loi;
- «*prescrit*» ou «*réglementaire*» signifie fixé ou déterminé par les règlements établis par le gouverneur en conseil;
- «*président*» désigne le président de la Commission;
- «*propriétaire*» comprend, dans le cas d'un véhicule, le mandataire du propriétaire et toute personne qui a un droit dans le véhicule;
- «*réfugié au sens de la Convention*» désigne toute personne qui, craignant avec raison d'être persécutée du fait de sa race, de sa religion, de sa nationalité, de son appartenance à un groupe social ou de ses opinions politiques
- a) se trouve hors du pays dont elle a la nationalité et ne peut ou, du fait de cette crainte, ne veut se réclamer de la protection de ce pays, ou
 - b) qui, si elle n'a pas de nationalité et se trouve hors du pays dans lequel elle avait sa résidence habituelle, ne peut ou, en raison de ladite crainte, ne veut y retourner;

"senior immigration officer" means an immigration officer designated by order of the Minister to perform or carry out any or all of the duties and functions of a senior immigration officer under this Act;

"transportation company" means a person or group of persons carrying or providing for the transportation of persons,

(a) where the expression appears in subsection 90(2), sections 93 and 94 and paragraph 115(1)(bb), by vehicle, bridge, tunnel or otherwise, and

(b) in any other case, by vehicle or otherwise, but not by bridge or tunnel, and includes any agent thereof and the Government of Canada or the government of any province or municipality in Canada so carrying or providing for the transportation of persons;

"vehicle" means any conveyance that may be used for transportation by sea, land or air;

"Vice-Chairman" means a Vice-Chairman of the Board;

"visa" means a document issued or a stamp impression made on a document by a visa officer;

"visa officer" means an immigration officer stationed outside Canada and authorized by order of the Minister to issue visas;

"visitor" means a person who is lawfully in Canada, or seeks to come into Canada, for a temporary purpose, other than a person who is

(a) a Canadian citizen,

(b) a permanent resident,

(c) a person in possession of a permit, or

(d) an immigrant authorized to come into Canada pursuant to paragraph 14(2)(b), 23(1)(b) or 32(3)(b).

«résident permanent» désigne la personne qui

a) a obtenu le droit d'établissement,

b) n'a pas acquis la citoyenneté canadienne, et

c) n'a pas perdu son statut conformément au paragraphe 24(1);

«responsable» désigne la personne directement en charge d'un véhicule;

«sous-ministre» désigne le sous-chef du ministère chargé de l'application de la présente loi;

«transporteur» désigne les personnes ou groupes de personnes et leurs mandataires ainsi que les gouvernements fédéral, provinciaux ou les municipalités du Canada qui transportent ou font transporter des personnes

a) en recourant à des véhicules, à d'autres moyens ou en leur faisant emprunter un pont ou un tunnel, lorsque le terme «transporteur» se retrouve au paragraphe 90(2), aux articles 93 et 94 et à l'alinéa 115(1)(bb), et

b) en recourant à des véhicules ou à d'autres moyens, mais sans leur faire emprunter un pont ou un tunnel, lorsque le terme «transporteur» se retrouve ailleurs dans la présente loi;

«véhicule» désigne tout moyen de transport maritime, terrestre ou aérien;

«vice-président» désigne un vice-président de la Commission;

«visa» désigne le document délivré ou le cachet apposé par un agent des visas;

«visiteur» désigne toute personne qui, à titre temporaire, se trouve légalement au Canada ou cherche à y entrer, à l'exclusion

a) des citoyens canadiens,

b) des résidents permanents,

c) des titulaires de permis, ou

d) des immigrants visés aux alinéas 14(2)(b), 23(1)(b) ou 32(3)(b).

(2) The term "Convention" in the expression "Convention refugee" refers to the United Nations Convention Relating to the Status of Refugees signed at Geneva on the

(2) Dans l'expression «réfugié au sens de la Convention», le terme «Convention» désigne la Convention des Nations-Unies relative au statut des réfugiés, signée à Genève le 28

28th day of July, 1951 and includes the Protocol thereto signed at New York on the 31st day of January, 1967.

juillet 1951 et le protocole signé à New York le 31 janvier 1967.

PART I
CANADIAN IMMIGRATION POLICY

Objectives

3. It is hereby declared that Canadian immigration policy and the rules and regulations made under this Act shall be designed and administered in such a manner as to promote the domestic and international interests of Canada recognizing the need

(a) to support the attainment of such demographic goals as may be established by the Government of Canada from time to time in respect of the size, rate of growth, structure and geographic distribution of the Canadian population;

(b) to enrich and strengthen the cultural and social fabric of Canada, taking into account the federal and bilingual character of Canada;

(c) to facilitate the reunion in Canada of Canadian citizens and permanent residents with their close relatives from abroad;

(d) to encourage and facilitate the adaptation of persons who have been granted admission as permanent residents to Canadian society by promoting cooperation between the Government of Canada and other levels of government and non-governmental agencies in Canada with respect thereto;

(e) to facilitate the entry of visitors into Canada for the purpose of fostering trade and commerce, tourism, cultural and scientific activities and international understanding;

(f) to ensure that any person who seeks admission to Canada on either a permanent or temporary basis is subject to standards of admission that do not discriminate on grounds of race, national or ethnic origin, colour, religion or sex;

(g) to fulfil Canada's international legal obligations with respect to refugees and to uphold its humanitarian tradition with

PARTIE I
POLITIQUE CANADIENNE
D'IMMIGRATION

Les objectifs

3. Il est, par les présentes, déclaré que la politique d'immigration du Canada, ainsi que les règles et règlements établis en vertu de la présente loi, sont conçus et mis en œuvre en vue de promouvoir ses intérêts sur le plan interne et international, en reconnaissant la nécessité

a) de favoriser la poursuite des objectifs démographiques établis par le gouvernement du Canada, relatifs au chiffre, au taux de croissance, à la composition et à la répartition géographique de la population canadienne;

b) d'enrichir et de consolider le patrimoine culturel et social du Canada, compte tenu de son caractère fédéral et bilingue;

c) de faciliter la réunion au Canada des citoyens canadiens et résidents permanents avec leurs proches parents de l'étranger;

d) d'encourager et de faciliter, grâce aux efforts conjugués du gouvernement fédéral, des autres niveaux de gouvernement et des organismes non gouvernementaux, l'adaptation à la société canadienne des personnes qui ont obtenu l'admission à titre de résidents permanents;

e) de faciliter le séjour au Canada de visiteurs en vue de promouvoir le commerce, le tourisme, les activités scientifiques et culturelles ainsi que la compréhension internationale;

f) de s'assurer que les personnes désireuses d'être admises au Canada à titre permanent ou temporaire soient soumises à des critères non discriminatoires en raison de la race, l'origine nationale ou ethnique, la couleur, la religion ou le sexe;

g) de remplir, envers les réfugiés, les obligations légales du Canada sur le plan international et de maintenir sa tradition-

respect to the displaced and the persecuted;

(h) to foster the development of a strong and viable economy and the prosperity of all regions in Canada;

(i) to maintain and protect the health, safety and good order of Canadian society; and

(j) to promote international order and justice by denying the use of Canadian territory to persons who are likely to engage in criminal activity.

Principles

4. (1) A Canadian citizen and a permanent resident have a right to come into Canada except where, in the case of a permanent resident, it is established that that person is a person described in subsection 27(1).

(2) Subject to any other Act of Parliament, a Canadian citizen, a permanent resident and a Convention refugee while lawfully in Canada have a right to remain in Canada except where

(a) in the case of a permanent resident, it is established that that person is a person described in subsection 27(1); and

(b) in the case of a Convention refugee, it is established that that person is a person described in paragraph 19(1)(c), (d), (e), (f) or (g) or 27(1)(c) or (d) or 27(2)(c) or a person who has been convicted of an offence under any Act of Parliament for which a term of imprisonment of—

(i) more than six months has been imposed, or

(ii) five years or more may be imposed.

(3) A person who is registered as an Indian pursuant to the *Indian Act* has, whether or not he is a Canadian citizen, the same rights and obligations under this Act as a Canadian citizen.

5. (1) No person, other than a person described in section 4, has a right to come into or remain in Canada

(2) An immigrant shall be granted landing if he is not a member of an inadmissible class

nelle attitude humanitaire à l'égard des personnes déplacées ou persécutées;

h) de stimuler le développement d'une économie florissante et assurer la prospérité dans toutes les régions du pays;

i) de maintenir et de garantir la santé, la sécurité et l'ordre au Canada; et

j) de promouvoir l'ordre et la justice sur le plan international en refusant aux personnes susceptibles de se livrer à des activités criminelles de se trouver en territoire canadien.

Principes

4. (1) Tout citoyen canadien, ainsi que les résidents permanents non visés au paragraphe 27(1), ont le droit d'entrer au Canada.

(2) Sous réserve des lois du Parlement, le citoyen canadien, le résident permanent ainsi que le réfugié au sens de la Convention qui se trouve légalement au Canada, ont le droit d'y demeurer à l'exception

a) du résident permanent visé au paragraphe 27(1); et

b) du réfugié au sens de la Convention qui tombe sous le coup des alinéas 19(1)c), d), e), f) ou g) ou 27(1)c) ou d) ou 27(2)c) ou qui, déclaré coupable d'une infraction prévue par une loi du Parlement,

(i) a été condamné à plus de six mois de prison, ou

(ii) est passible d'au moins cinq ans de prison.

(3) Tout Indien inscrit conformément à la *Loi sur les Indiens*, même s'il n'est pas citoyen canadien, a les mêmes droits et obligations qu'un citoyen canadien en vertu de la présente loi.

5. (1) Seules les personnes visées à l'article 4 ont le droit d'entrer au Canada et d'y demeurer.

(2) Le droit d'établissement doit être accordé à tout immigrant qui n'appartient

and otherwise meets the requirements of this Act and the regulations.

(3) A visitor may be granted entry and allowed to remain in Canada during the period for which he was granted entry or for which he is otherwise authorized to remain in Canada if he meets the requirements of this Act and the regulations.

Selection of Immigrants

6. (1) Subject to this Act and the regulations, any immigrant including a Convention refugee, a member of the family class and an independent immigrant may be granted landing if he is able to establish to the satisfaction of an immigration officer that he meets the selection standards established by the regulations for the purpose of determining whether or not an immigrant will be able to become successfully established in Canada.

(2) Any Convention refugee and any person who is a member of a class designated by the Governor in Council as a class, the admission of members of which would be in accordance with Canada's humanitarian tradition with respect to the displaced and the persecuted, may be granted admission subject to such regulations as may be established with respect thereto and notwithstanding any other regulations made under this Act.

Levels of Immigration

7. The Minister, after consultation with the provinces concerning regional demographic needs and labour market considerations and after consultation with such other persons, organizations and institutions as he deems appropriate, shall lay before Parliament, not later than the sixtieth day before the commencement of each calendar year or, if Parliament is not then sitting, not later than the fifteenth day next thereafter that Parliament is sitting, a report specifying

(a) the number of immigrants that the Government of Canada deems it appropriate to admit during any specified period of time; and

pas à une catégorie non admissible et qui remplit les conditions posées par la présente loi et les règlements.

(3) Le visiteur, qui remplit les conditions prévues à la présente loi et aux règlements, 5 peut obtenir l'autorisation de séjour et demeurer au Canada pour une durée déterminée ou pour toute autre période autorisée.

Sélection des immigrants

6. (1) Sous réserve de la présente loi et des règlements, tout immigrant, notamment 10 un réfugié au sens de la Convention, une personne appartenant à la catégorie de la famille et un immigrant indépendant, peut obtenir le droit d'établissement s'il établit à la satisfaction de l'agent d'immigration qu'il 15 répond aux normes réglementaires de sélection fixées en vue de déterminer l'aptitude des immigrants à s'établir avec succès au Canada.

(2) Tout réfugié au sens de la Convention 20 et toute personne d'une catégorie déclarée admissible par le gouverneur en conseil conformément à l'attitude traditionnellement humanitaire du Canada à l'égard des personnes déplacées ou persécutées, peuvent obtenir 25 l'admission, sous réserve des règlements établis à cette fin et par dérogation à tous autres règlements établis en vertu de la présente loi.

Niveaux d'immigration

7. Le Ministre, après avoir consulté les provinces sur l'aspect régional des besoins 30 démographiques et de la situation du marché du travail, ainsi que toutes autres personnes, organisations et institutions qu'il juge appropriées, dépose devant le Parlement, au plus tard le soixantième jour précédant le début 35 de chaque année civile ou, si le Parlement ne siège pas, au plus tard le quinzième jour de la séance subséquente, un rapport indiquant

a) le nombre d'immigrants que le gouvernement canadien juge opportun d'admettre 40 durant une période déterminée; et

(b) the manner in which demographic considerations have been taken into account in determining that number.

b) la manière dont les considérations démographiques ont été prises en ligne de compte pour fixer ce nombre.

PART II ADMISSION TO CANADA

General Presumption

8. (1) Where a person seeks to come into Canada, the burden of proving that he has a right to come into Canada or that his admission would not be contrary to this Act or the regulations rests on him.

(2) Every person seeking to come into Canada shall be presumed to be an immigrant until he satisfies the immigration officer examining him or the adjudicator presiding at his inquiry that he is not an immigrant.

Visas and Special Authorizations

9. (1) Except in such cases as are prescribed, every immigrant and visitor shall make an application for and obtain a visa before he appears at a port of entry.

(2) Every person who makes an application for a visa shall be assessed by a visa officer for the purpose of determining whether the person appears to be a person who may be granted landing or entry, as the case may be.

(3) Every person shall answer truthfully all questions put to him by a visa officer and shall produce such documentation as may be required by the visa officer for the purpose of establishing that his admission would not be contrary to this Act or the regulations.

(4) Where a visa officer is satisfied that it would not be contrary to this Act or the regulations to grant landing or entry, as the case may be, to a person who has made an application pursuant to subsection (1), he may issue a visa to that person, for the purpose of identifying the holder thereof as an immigrant or visitor, as the case may be, who, in the opinion of the visa officer, meets the requirements of this Act and the regulations.

PARTIE II ADMISSION AU CANADA

Présomption d'ordre général

8. (1) Il appartient à la personne désireuse d'entrer au Canada de prouver qu'elle a le droit d'y entrer ou que son admission ne contreviendrait ni à la présente loi ni aux règlements.

(2) Toute personne désireuse d'entrer au Canada est présumée vouloir s'y établir tant qu'elle n'a pas démontré le contraire à la satisfaction de l'agent d'immigration qui l'examine ou de l'arbitre qui mène l'enquête.

Visas et autorisations spéciales

9. (1) Sous réserve des dispositions réglementaires, tout immigrant et tout visiteur doivent demander et obtenir un visa avant de se présenter à un point d'entrée.

(2) Toute personne qui fait une demande de visa doit être examinée par un agent des visas qui détermine si elle semble être une personne qui peut obtenir le droit d'établissement ou l'autorisation de séjour.

(3) Toute personne doit répondre sincèrement aux questions de l'agent des visas et produire toutes les pièces qu'il réclame pour établir que son admission ne contreviendrait ni à la présente loi ni aux règlements.

(4) L'agent des visas, qui constate que l'établissement ou le séjour au Canada d'une personne visée au paragraphe (1) ne contreviendrait ni à la présente loi ni aux règlements, peut lui délivrer un visa attestant qu'à son avis, le titulaire est un immigrant ou un visiteur qui satisfait aux exigences de la présente loi et des règlements.

10. Except in such cases as are prescribed, every person who seeks entry for the purpose of

(a) attending any university or college authorized by statute or charter to confer 5 degrees;

(b) taking any academic, professional or vocational training course at any university, college or other institution not described in paragraph (a), or 10

(c) engaging in employment

shall make an application to a visa officer for and obtain authorization to enter Canada for such purpose before he appears at a port of entry. 15

10. Sous réserve des dispositions réglementaires, toute personne désireuse de séjourner au Canada aux fins

a) de suivre des cours à une université ou à un collège autorisés par la loi ou par une charte à délivrer des diplômes, 5

b) de suivre des cours de formation théorique ou professionnelle à une université, à un collège ou à toute autre institution, non visés à l'alinéa a), ou 10

c) de prendre un emploi,

doit faire une demande à un agent des visas et obtenir l'autorisation nécessaire avant de se présenter à un point d'entrée

Examinations

11. (1) Every immigrant and every visitor of a prescribed class shall undergo a medical examination by a medical officer

(2) Every visitor and every person in possession of a permit who, in the opinion of an immigration officer or an adjudicator, may be a member of the inadmissible class described in paragraph 19(1)(a) may be required by the immigration officer or the adjudicator to undergo a medical examination by a medical officer. 20 25

(3) For the purposes of this section, medical examination includes a mental examination, a physical examination and a medical assessment of records respecting a person. 30

12. (1) Every person seeking to come into Canada shall appear before an immigration officer at a port of entry, or at such other place as may be designated by a senior immigration officer, for examination to determine whether he is a person who shall be allowed to come into Canada or may be granted admission. 35

(2) For the purposes of this section, where a person leaves Canada and thereafter seeks to return to Canada, whether or not he was granted lawful permission to be in any other country, he shall be deemed to be seeking to come into Canada 40

Examens

11. (1) Doivent se soumettre à la visite d'un médecin, tout immigrant et tout visiteur faisant partie d'une catégorie pour laquelle ladite visite est prévue par les règlements. 15

(2) Un agent d'immigration ou un arbitre peut exiger que tout visiteur et tout titulaire de permis qui, selon lui, fait partie de la catégorie de personnes non admissibles visée à l'alinéa 19(1)a) se soumettent à la visite d'un médecin 20 25

(3) Aux fins du présent article, la visite médicale comprend l'examen psychiatrique et physique ainsi que l'examen, sur le plan médical, du dossier d'une personne. 25 30

12. (1) Toute personne désireuse d'entrer au Canada, doit se présenter devant un agent d'immigration à un point d'entrée ou à tout autre endroit désigné par un agent d'immigration supérieur, après examen, l'agent d'immigration détermine si la personne doit être autorisée à entrer au Canada ou si elle peut obtenir l'admission 30 35

(2) Pour l'application du présent article, toute personne désireuse de retourner au Canada, que son séjour en pays étranger ait été autorisé ou non, est réputée désireuse d'entrer au Canada 40

(3) Where an immigration officer commences an examination referred to in subsection (1), he may, in such circumstances as he deems proper,

- (a) adjourn the examination and refer the person being examined to another immigration officer for completion of the examination; and
 (b) detain or make an order to detain the person.

(4) Every person shall answer truthfully all questions put to him by an immigration officer at an examination and shall produce such documentation as may be required by the immigration officer for the purpose of establishing whether he shall be allowed to come into Canada or may be granted admission.

13. (1) Where, in the opinion of an immigration officer, a person appearing before him for examination cannot for any reason be properly examined, the immigration officer may cause the examination of such person to be deferred until such time as he may be properly examined or may make an order for his rejection from Canada.

(2) An order made under subsection (1) or a copy thereof shall be served upon the person against whom it is made and upon the owner or master of the vehicle by which such person was brought to Canada.

(3) An order made under subsection (1) shall cease to be in force or to have effect when the person against whom it was made again appears before an immigration officer and can, in the opinion of such officer, be properly examined by him.

14. (1) Where an immigration officer is satisfied that a person examined by him
 (a) has a right to come into Canada,
 (b) is a person in possession of a subsisting permit, or
 (c) is a person against whom a removal order has been made or to whom a departure notice has been issued who has been removed from or otherwise left Canada but has not been granted lawful permission to be in any other country,

(3) L'agent d'immigration, qui a commencé l'examen visé au paragraphe (1), peut, lorsqu'il le juge à propos,

- a) ajourner l'examen et déférer la personne à un autre agent d'immigration pour qu'il termine l'examen en question; et
 b) la détenir ou en ordonner la détention.

(4) Toute personne examinée doit répondre sincèrement aux questions de l'agent d'immigration et produire toutes les pièces qu'il réclame aux fins d'établir si elle doit être autorisée à entrer au Canada ou si elle peut obtenir l'admission.

13. (1) Au cas où l'agent d'immigration estime que, pour une raison quelconque, la personne qui se présente devant lui ne peut être examinée convenablement, il peut soit faire ajourner l'examen jusqu'à ce qu'il puisse être fait de façon convenable, soit prononcer, par ordonnance, le refoulement de la personne concernée.

(2) L'original ou une copie de toute ordonnance visée au paragraphe (1) est signifié à la personne en cause et au propriétaire ou responsable du véhicule qui l'a amenée au Canada.

(3) L'ordonnance visée au paragraphe (1) cesse de produire ses effets au cas où la personne en cause se présente à nouveau devant un agent d'immigration qui peut, de son propre avis, l'examiner convenablement.

14. (1) L'agent d'immigration doit autoriser à entrer au Canada une personne qu'il a examinée lorsqu'il constate qu'elle
 a) a le droit d'entrer au Canada;
 b) est en possession d'un permis en cours de validité; ou
 c) a quitté le Canada après avoir fait l'objet d'une ordonnance de renvoi ou d'un avis d'interdiction de séjour, mais n'a pas obtenu l'autorisation de séjourner dans un autre pays.

he shall allow such person to come into Canada.

(2) Where an immigration officer is satisfied that it would not be contrary to this Act or the regulations to grant landing to an immigrant examined by him,

(a) he shall grant landing to that immigrant, in which case he may impose terms and conditions of a prescribed nature; or
(b) he may authorize that immigrant to come into Canada on condition that he present himself for further examination by an immigration officer within such time and at such place as the immigration officer who examined him may direct.

(3) Where an immigration officer is satisfied that it would not be contrary to this Act or the regulations to grant entry to a visitor examined by him, he may grant entry to that visitor and impose terms and conditions of a prescribed nature.

(4) Where an immigration officer is satisfied that it would not be contrary to this Act or the regulations to grant landing to an immigrant who has been authorized pursuant to paragraph 14(2)(b), 23(1)(b) or 32(3)(b) to come into Canada, he shall, after such further examination as he deems necessary, grant landing to such person, in which case he may impose terms and conditions of a prescribed nature.

15. (1) When a permanent resident who has been granted landing subject to terms and conditions has complied with those terms and conditions, they shall be deemed to have been cancelled six months after the day on which that permanent resident was granted landing.

(2) Where a permanent resident has been granted landing subject to terms and conditions, he may at any time make an application to an immigration officer to vary or cancel any such terms and conditions.

16. (1) Subject to subsection (2), any visitor may make an application to an immigration officer

(2) L'agent d'immigration qui constate qu'accorder le droit d'établissement à un immigrant qu'il a examiné ne contreviendrait ni à la présente loi ni aux règlements

a) doit lui accorder le droit d'établissement et peut alors lui imposer des conditions prévues aux règlements; ou
b) peut l'autoriser à entrer au Canada à condition qu'il se présente, pour examen complémentaire, devant un agent d'immigration dans le délai et au lieu qu'il peut ordonner.

(3) L'agent d'immigration qui constate qu'accorder l'autorisation de séjour à un visiteur qu'il a examiné ne contreviendrait ni à la présente loi ni aux règlements, peut la lui accorder et lui imposer des conditions prévues aux règlements.

(4) L'agent d'immigration qui constate que l'établissement au Canada d'un immigrant autorisé à y entrer en vertu des alinéas 14(2)b), 23(1)b) ou 32(3)b), ne contreviendrait ni à la présente loi ni aux règlements, doit, après tout examen complémentaire qu'il juge nécessaire, lui accorder le droit d'établissement et peut alors lui imposer des conditions prévues aux règlements.

15. (1) Les conditions auxquelles est soumis le droit d'établissement sont réputées caduques dans un délai de six mois après que le résident permanent ait obtenu son droit d'établissement, pourvu qu'il les ait respectées.

(2) Un résident permanent peut, à tout moment, demander à un agent d'immigration de modifier ou d'annuler les conditions auxquelles est soumis son droit d'établissement.

16. (1) Sous réserve du paragraphe (2), tout visiteur peut demander à un agent d'immigration

(a) to vary or cancel terms and conditions imposed pursuant to subsection 14(3), 23(2) or 32(4); or

(b) to extend the period of time during which he is authorized to remain in Canada, except where he was granted entry pursuant to subsection 19(3).

(2) Except in such cases as are prescribed, no visitor in Canada may make an application to an immigration officer to obtain authorization

(a) to attend any university or college or take any academic, professional or vocational training course; or

(b) to engage in employment in Canada.

17. (1) Where an immigration officer receives an application made pursuant to subsection 15(2) or 16(1), he shall approve or refuse the application.

(2) When an application is approved under subsection (1), the immigration officer may

(a) vary or cancel any terms and conditions subject to which the person was granted landing or entry;

(b) add new terms and conditions of a prescribed nature; or

(c) in the case of a visitor, extend the period of time during which the visitor is authorized to remain in Canada.

(3) When an application made pursuant to subsection 16(1) is refused, the person who made the application shall be allowed to remain in Canada if the period of time during which he is authorized to remain in Canada has not expired unless a deportation order is made against that person.

Visitors' Security Deposits

18. (1) A senior immigration officer may require any visitor or group or organization of visitors arriving in Canada to deposit or arrange for the deposit with the Deputy Minister of such reasonable sum of money or other security as he deems necessary as a guarantee that such visitor or group or organization of visitors will comply with any terms and conditions that may be imposed under this Act.

a) la modification ou l'annulation des conditions imposées en vertu des paragraphes 14(3), 23(2) ou 32(4); ou

b) la prolongation de la durée autorisée de son séjour au Canada, sauf s'il a obtenu l'autorisation de séjour en vertu du paragraphe 19(3).

(2) Sous réserve des dispositions réglementaires, il est interdit à un visiteur séjournant au Canada de demander à un agent d'immigration l'autorisation

a) de suivre des cours d'université ou de collège ou tout autre cours de formation théorique ou professionnelle; ou

b) d'occuper un emploi au Canada.

17. (1) L'agent d'immigration, saisi d'une demande visée aux paragraphes 15(2) ou 16(1), doit l'accepter ou la rejeter.

(2) En cas d'acceptation en vertu du paragraphe (1), l'agent d'immigration peut

a) modifier ou annuler les conditions dont était assorti le droit d'établissement ou l'autorisation de séjour;

b) ajouter de nouvelles conditions réglementaires; ou

c) prolonger la durée autorisée du séjour au Canada d'un visiteur.

(3) Toute personne, dont la demande visée au paragraphe 16(1) a été rejetée, est autorisée à demeurer au Canada tant que n'est pas expirée la durée de son séjour, à moins qu'elle ne fasse l'objet d'une ordonnance d'expulsion.

Dépôt de gage par les visiteurs

18. (1) Un agent d'immigration supérieur peut exiger qu'un visiteur, un groupe ou une organisation de visiteurs arrivant au Canada déposent ou fassent le nécessaire pour déposer, entre les mains du sous-ministre, un montant raisonnable d'argent ou tout autre gage qu'il estime approprié pour garantir le respect des conditions qui peuvent leur être imposées en vertu de la présente loi.

(2) Where a visitor or group or organization of visitors with respect to whom a sum of money or other security has been deposited pursuant to subsection (1) fails to comply with any term or condition that was imposed, the Deputy Minister may order that the sum of money so deposited be forfeited or that proceedings be taken to realize on the other security so deposited.

(3) Where a visitor or group or organization of visitors with respect to whom a sum of money or other security has been deposited pursuant to subsection (1) complies with the terms and conditions that were imposed, the sum of money or other security so deposited shall be returned as soon as practicable

(2) En cas de non-respect des conditions imposées, le sous-ministre peut ordonner la confiscation de la somme ou la réalisation du gage déposé par les visiteurs en vertu du paragraphe (1).

(3) Les dépôts visés au paragraphe (1) doivent être restitués, aussitôt que possible, aux visiteurs qui ont respecté les conditions imposées

PART III

EXCLUSION AND REMOVAL

Inadmissible Classes

19. (1) No person shall be granted admission if he is a member of any of the following classes:

(a) persons who are suffering from any disease, disorder, disability or other health impairment as a result of the nature, severity or probable duration of which, in the opinion of a medical officer concurred in by at least one other medical officer,

(i) they are or are likely to be a danger to public health or to public safety, or

(ii) their admission would cause or might reasonably be expected to cause excessive demands on health or social services;

(b) persons who there are reasonable grounds to believe are or will be unable or unwilling to support themselves and those persons who are dependent on them for care and support, except persons who have satisfied an immigration officer that adequate arrangements have been made for their care and support;

(c) persons who have been convicted of an offence that, if committed in Canada, constitutes or, if committed outside Canada,

PARTIE III

EXCLUSION ET RENVOI

Catégories de personnes non admissibles

19. (1) Ne sont pas admissibles

a) les personnes souffrant d'une maladie, d'un trouble, d'une invalidité ou autre incapacité pour raison de santé, dont la nature, la gravité ou la durée probable sont telles qu'un médecin, dont l'avis est confirmé par au moins un autre médecin, conclut,

(i) qu'elles constituent ou pourraient constituer un danger pour la santé ou la sécurité publiques, ou

(ii) que leur admission entraînerait ou pourrait vraisemblablement entraîner un fardeau excessif pour les services sociaux ou de santé;

b) les personnes au sujet desquelles il existe de bonnes raisons de croire qu'elles ne peuvent, ne veulent, ne pourront ou ne voudront subvenir ni à leurs besoins ni à ceux des personnes à leur charge, à l'exception de celles qui ont établi à la satisfaction d'un agent d'immigration que des mesures adéquates ont été prises pour assurer leur soutien;

c) les personnes qui ont été déclarées coupables d'une infraction qui constitue qu'elle ait été commise au Canada ou à

- would constitute an offence that may be punishable under any Act of Parliament and for which a maximum term of imprisonment of ten years or more may be imposed, except persons who have satisfied the Governor in Council that they have rehabilitated themselves and that at least five years have elapsed since the termination of the sentence imposed for the offence;
- (d) persons who there are reasonable grounds to believe will
- (i) commit one or more offences punishable by way of indictment under any Act of Parliament, or
- (ii) engage in activity that is part of a pattern of criminal activity, planned and organized by a number of persons acting in concert in furtherance of the commission of any offence that may be punishable under any Act of Parliament by way of indictment;
- (e) persons who have engaged in or who there are reasonable grounds to believe will engage in acts of espionage or subversion against democratic government, institutions or processes, as they are understood in Canada, except persons who, having engaged in such acts, have satisfied the Minister that their admission would not be detrimental to the national interest;
- (f) persons who there are reasonable grounds to believe will, while in Canada, engage in or instigate the subversion by force of any government;
- (g) persons who there are reasonable grounds to believe will engage in acts of violence that would or might endanger the lives or safety of persons in Canada or members of or are likely to participate in the unlawful activities of an organization that is likely to engage in such acts of violence;
- (h) persons who are not, in the opinion of an adjudicator, genuine immigrants or visitors; or
- (i) persons who, pursuant to section 57, are required to obtain the consent of the Minister to come into Canada but are seeking to come into Canada without having obtained such consent.
- l'étranger, une infraction qui peut être punissable, en vertu d'une loi du Parlement, d'une peine maximale d'au moins dix ans d'emprisonnement, à l'exception de celles qui établissent à la satisfaction du gouverneur en conseil qu'elles se sont réhabilitées et que cinq ans au moins se sont écoulés depuis l'expiration de leur peine;*
- d) les personnes au sujet desquelles il existe de bonnes raisons de croire qu'elles*
- (i) commettront une ou plusieurs infractions punissables par voie de mise en accusation en vertu d'une loi du Parlement, ou
- (ii) se livreront à des activités faisant partie d'un plan d'activités criminelles organisées par plusieurs personnes agissant de concert pour commettre une infraction qui peut être punissable par voie de mise en accusation en vertu d'une loi du Parlement;
- e) les personnes qui se sont livrées à des actes d'espionnage ou de subversion contre des institutions démocratiques au sens où cette expression s'entend au Canada, ou au sujet desquelles il y a de bonnes raisons de croire qu'elles se livreront à de tels actes, à l'exception de celles qui, s'y étant livrées, ont établi à la satisfaction du Ministre que leur admission ne serait nullement préjudiciable à l'intérêt national;*
- f) les personnes au sujet desquelles il existe de bonnes raisons de croire que, pendant leur séjour au Canada, elles travailleront ou inciteront au renversement d'un gouvernement par la force;*
- g) les personnes au sujet desquelles il existe de bonnes raisons de croire qu'elles commettront des actes de violence de nature à porter atteinte à la vie ou à la sécurité humaines au Canada, ou qu'elles appartiennent à une association susceptible de commettre de tels actes ou qu'elles sont susceptibles de prendre part aux activités illégales d'une telle association;*
- h) les personnes qui, de l'avis d'un arbitre, ne sont pas de véritables immigrants ou visiteurs; ou*
- i) les personnes désireuses d'entrer au Canada sans avoir obtenu l'autorisation que leur impose l'article 57.*

(2) No immigrant and, except as provided in subsection (3), no visitor shall be granted admission if he is a member of any of the following classes:

(a) persons who have been convicted of an offence that, if committed in Canada, constitutes or, if committed outside Canada, would constitute an offence that may be punishable by way of indictment under any other Act of Parliament and for which a maximum term of imprisonment of less than ten years may be imposed, except persons who have satisfied the Minister that they have rehabilitated themselves and that

(i) in the case of persons who were convicted of any such offence when they were twenty-one or more years of age, at least five years have elapsed since the termination of the sentence imposed for the offence, or

(ii) in the case of persons who were convicted of any such offence when they were less than twenty-one years of age, at least two years have elapsed since the termination of the sentence imposed for the offence;

(b) persons who have been convicted of two or more offences not arising out of a single occurrence that, if committed outside Canada, constitute or, if committed outside Canada, would constitute offences punishable on summary conviction under any other Act of Parliament, where

(i) in the case of persons who were convicted of any such offence when they were twenty-one or more years of age, any part of any sentences imposed in respect of two such offences was served or to be served at any time during the five year period immediately preceding the day on which they seek admission to Canada, or

(ii) in the case of persons who were convicted of such offences when they were less than twenty-one years of age, any part of any sentences imposed in respect thereof was served or to be served at any time during the two year period immediately preceding the day on which they seek admission to Canada;

(c) other members of a family accompanying a member of that family who may not be granted admission; or

(2) Ne peuvent obtenir l'admission, les immigrants et, sous réserve du paragraphe (3), les visiteurs qui

a) ont été déclarés coupables d'une infraction qui constitue, qu'elle ait été commise au Canada ou à l'étranger, une infraction qui peut être punissable par voie d'acte d'accusation, en vertu d'une autre loi du Parlement, d'une peine maximale de moins de dix ans d'emprisonnement, à l'exception de ceux qui établissent à la satisfaction du Ministre qu'ils se sont réhabilités et

(i) qu'au moins cinq ans se sont écoulés depuis la date de l'expiration de leur peine, au cas où l'auteur était âgé d'au moins vingt et un ans lors de la déclaration de culpabilité, ou

(ii) qu'au moins deux ans se sont écoulés depuis la date de l'expiration de leur peine, au cas où l'auteur était âgé de moins de vingt et un ans lors de la déclaration de culpabilité;

b) ont été déclarés coupables d'avoir commis au moins deux infractions qui ne découlent pas d'un même événement et qui constituent, qu'elles aient été commises au Canada ou à l'étranger, des infractions punissables sur déclaration sommaire de culpabilité en vertu d'une autre loi du Parlement, pour autant que

(i) ces infractions ont fait l'objet de peines qui ont été purgées ou devaient l'être au moins partiellement dans les cinq ans précédant la date de leur demande d'admission au Canada, dans les cas où l'auteur était âgé d'au moins vingt et un ans lors de la déclaration de culpabilité relative à l'une de ces infractions, ou

(ii) ces infractions ont fait l'objet de peines qui ont été purgées ou devaient l'être au moins partiellement dans les deux ans précédant la date de leur demande d'admission au Canada, dans les cas où l'auteur était âgé de moins de vingt et un ans lors des déclarations de culpabilité relative à ces infractions;

c) accompagnent un membre de leur famille qui peut se voir refuser l'admission; ou

(d) persons who cannot or do not fulfil or comply with any of the conditions or requirements of this Act or the regulations or any orders or directions lawfully made or given under this Act or the regulations. 5

(3) A senior immigration officer or an adjudicator, as the case may be, may grant entry to any person who is a member of an inadmissible class described in subsection (2), subject to such terms and conditions as he deems appropriate and for a period not exceeding thirty days, where, in his opinion, the purpose for which entry is sought justifies admission.

Removal at Ports of Entry

20. (1) Where an immigration officer is of the opinion that it would or may be contrary to this Act or the regulations to grant admission to or otherwise let a person examined by him come into Canada, he may detain or make an order to detain the person and shall

(a) subject to subsection (2), in writing report that person to a senior immigration officer; or

(b) allow that person to leave Canada forthwith.

(2) Where an immigration officer at a port of entry is of the opinion that it would or may be contrary to this Act or the regulations to grant admission to or otherwise let come into Canada a person who is residing or sojourning in the United States, he may, where a senior immigration officer to whom he would otherwise make a report pursuant to subsection (1) is not reasonably available, direct that person to return to the United States until such time as such senior immigration officer is available.

21. Where a removal order is made against any person with respect to whom an inquiry is held as a result of a report made pursuant to subsection 20(1), the removal order against that person may be made on the basis that that person is a member of any inadmissible class.

22. Where a senior immigration officer receives a report made pursuant to subsection 20(1) concerning a person who seeks to

d) ne remplissent pas les conditions prévues à la présente loi ou aux règlements ainsi qu'aux instructions et directives établis sous leur empire.

(1) Un agent d'immigration supérieur ou un arbitre peut, lorsque les motifs de la demande lui semblent justifier une admission, accorder une autorisation de séjour à toute personne non admissible visée au paragraphe (2), sous réserve des conditions qu'il juge appropriées et pour une durée maximale de trente jours.

Renvoi aux points d'entrée

20. (1) L'agent d'immigration qui, après examen d'une personne, estime que lui accorder l'admission ou la permission d'entrer au Canada irait ou pourrait aller à l'encontre de la présente loi ou des règlements, peut mettre ou, par ordonnance, faire mettre ladite personne en détention et doit

a) sous réserve du paragraphe (2), signaler dans un rapport écrit, cette personne à un agent d'immigration supérieur; ou

b) autoriser ladite personne à quitter le Canada immédiatement.

(2) Lorsque, à un point d'entrée, un agent d'immigration estime qu'accorder l'admission ou la permission d'entrer au Canada à une personne résidant ou séjournant aux États-Unis irait ou pourrait aller à l'encontre de la présente loi ou des règlements, il peut, si l'agent d'immigration supérieur auquel il doit faire le rapport visé au paragraphe (1) n'est pas raisonnablement disponible et en attendant qu'il soit disponible, ordonner à ladite personne de retourner aux États-Unis.

21. L'ordonnance de renvoi frappant une personne qui a fait l'objet d'une enquête à la suite du rapport visé au paragraphe 20(1), peut être motivée par le fait que ladite personne appartient à une catégorie non admissible.

22. L'agent d'immigration supérieur saisi du rapport prévu au paragraphe 20(1), concernant une personne désireuse d'entrer au

come into Canada, he shall let the person come into Canada where he is satisfied that the person is a person described in subsection 14(1).

Canada et qu'il estime être visée au paragraphe 14(1), doit la laisser entrer au Canada.

23. (1) Where a senior immigration officer receives a report made pursuant to subsection 20(1) concerning an immigrant,

(a) he shall grant landing to that immigrant, in which case he may impose terms and conditions of a prescribed nature, or

(b) he may authorize that immigrant to come into Canada on condition that he present himself for further examination by an immigration officer within such time and at such place as the senior immigration officer may direct,

if he is satisfied that it would not be contrary to this Act or the regulations to grant landing to or otherwise authorize that immigrant to come into Canada.

23. (1) L'agent d'immigration supérieur qui est saisi du rapport prévu au paragraphe 20(1) concernant un immigrant et qui estime qu'accorder le droit d'établissement à cet immigrant ou l'autoriser par ailleurs à entrer au Canada ne contreviendrait ni à la présente loi ni aux règlements

a) doit lui accorder le droit d'établissement et peut alors lui imposer des conditions prévues aux règlements, ou

b) peut l'autoriser à entrer au Canada à condition de se présenter, dans le délai et au lieu qu'il fixe, devant un agent d'immigration pour examen complémentaire.

(2) Where a senior immigration officer receives a report made pursuant to subsection 20(1) concerning a visitor, he may grant entry to that visitor and, except in the case of a person who may be granted entry pursuant to subsection 19(3), impose terms and conditions of a prescribed nature if he is satisfied that it would not be contrary to this Act or the regulations to grant entry to that visitor.

(2) L'agent d'immigration supérieur qui est saisi du rapport prévu au paragraphe 20(1) concernant un visiteur et qui estime qu'accorder l'autorisation de séjour à ce visiteur ne contreviendrait ni à la présente loi ni aux règlements, peut la lui accorder et, sauf s'il s'agit d'une personne qui peut obtenir l'autorisation de séjour en vertu du paragraphe 19(3), lui imposer des conditions prévues aux règlements.

(3) Where a senior immigration officer does not let a person come into Canada pursuant to section 22 and does not grant admission to or otherwise authorize the person to come into Canada pursuant to subsection (1) or (2), he may

(3) L'agent d'immigration supérieur qui n'accorde pas à une personne la permission d'entrer au Canada en vertu de l'article 22 ni ne lui accorde l'admission ou l'autorisation d'entrer au Canada en vertu du paragraphe (1) ou (2), peut

(a) detain or make an order to detain the person, or

(b) release the person from detention subject to such terms and conditions as he deems appropriate in the circumstances, including the payment of a reasonable security deposit or the posting of a performance bond,

and shall

(c) subject to subsection (4), cause an inquiry to be held concerning that person as soon as is reasonably practicable, or

a) la détenir ou donner l'ordre de la détenir, ou

b) la mettre en liberté sous réserve des conditions qu'il juge appropriées aux circonstances, notamment du dépôt d'un gage raisonnable ou d'un bon de garantie d'exécution

et doit

c) sous réserve du paragraphe (4), faire tenir, dès que les circonstances le permettent, une enquête sur ladite personne, ou
d) l'autoriser à quitter le Canada immédiatement.

(d) allow that person to leave Canada forthwith.

(4) Where, pursuant to subsection (3), a senior immigration officer is required to cause an inquiry to be held with respect to a person who is residing or sojourning in the United States, he may, where an adjudicator is not reasonably available to preside at the inquiry, direct that person to return to the United States until such time as an adjudicator is available.

(5) No person shall be detained or ordered detained by a senior immigration officer pursuant to paragraph (3)(a) and any person who has been detained pursuant to subsection 20(1) shall be released from detention by a senior immigration officer pursuant to paragraph (3)(b) unless the senior immigration officer is satisfied that the person poses a danger to the public or would not appear for an examination or inquiry.

(6) Where a senior immigration officer causes an inquiry to be held concerning a person with respect to whom a report has been made pursuant to subsection 20(1), he shall make a copy of the report available to that person.

Loss of Status

24. (1) A person ceases to be a permanent resident when

- (a) he leaves or remains outside Canada with the intention of abandoning Canada as his place of permanent residence; or
(b) a deportation order has been made against him and such order is not quashed or the execution thereof is not stayed pursuant to subsection 75(1).

(2) Where a permanent resident is outside Canada for more than one hundred and eighty-three days in any one twelve month period, he shall be deemed to have abandoned Canada as his place of permanent residence unless he satisfies an immigration officer or an adjudicator, as the case may be, that he did not intend to abandon Canada as his place of permanent residence.

(4) L'agent d'immigration supérieur qui, conformément au paragraphe (3), doit faire tenir une enquête sur une personne qui réside ou séjourne aux États-Unis, peut, si aucun arbitre n'est raisonnablement disponible pour mener l'enquête et en attendant qu'il soit possible d'en trouver un disponible, ordonner à ladite personne de retourner aux États-Unis.

(5) L'agent d'immigration supérieur ne peut détenir ou donner l'ordre de détenir une personne conformément à l'alinéa (3)a) et doit mettre en liberté, conformément à l'alinéa (3)b), toute personne qui a été détenue en vertu du paragraphe 20(1) à moins qu'il ne soit convaincu que cette personne constitue une menace pour le public ou se dérobera à un examen ou à une enquête.

(6) L'agent d'immigration supérieur qui fait tenir une enquête sur une personne visée par un rapport prévu au paragraphe 20(1), doit mettre une copie de ce rapport à la disposition de cette personne.

Perte de statut

24. (1) Sont déchues de leur statut de résident permanent les personnes

- a) qui quittent le Canada ou demeurent à l'étranger avec l'intention de renoncer à considérer le Canada comme lieu de leur résidence permanente; ou
b) qui ont fait l'objet d'une ordonnance d'expulsion non infirmée ou dont le sursis d'exécution n'a pas été accordé en vertu du paragraphe 75(1).

(2) Le résident permanent qui se trouve à l'étranger plus de cent quatre-vingt-trois jours au cours d'une période de douze mois est réputé avoir renoncé à considérer le Canada comme son lieu de résidence permanente, sauf s'il établit le contraire à la satisfaction d'un agent d'immigration ou d'un arbitre, selon le cas.

25. (1) Where a permanent resident intends to leave Canada for any period of time or is outside Canada, he may in prescribed manner make an application to an immigration officer for a returning resident permit.

(2) Possession by a person of a valid returning resident permit issued to him pursuant to the regulations is, in the absence of evidence to the contrary, proof that the person did not leave or remain outside Canada with the intention of abandoning Canada as his place of permanent residence.

26. (1) A person ceases to be a visitor in Canada when

- (a) he fails to comply with any term or condition subject to which he is authorized to remain in Canada;
- (b) without authorization, he attends any university or college, takes any academic, professional or vocational training course or engages in employment in Canada;
- (c) he remains in Canada for a period of time greater than that for which he is authorized to remain in Canada;
- (d) a departure notice has been issued to him and the date on or before which he was thereby required to leave Canada has passed; or
- (e) a deportation order has been made against him that is not quashed or the execution of which is not stayed pursuant to subsection 75(1).

(2) Unless otherwise specified in writing by an immigration officer or an adjudicator, a visitor is not authorized to remain in Canada for a period in excess of three months from the day on which he is granted entry.

Removal After Admission

27. (1) Where an immigration officer or peace officer has in his possession information indicating that a permanent resident is a person who

- (a) if he were an immigrant, would not be granted landing by reason of his being a member of an inadmissible class described

25. (1) Le résident permanent désireux de quitter le Canada temporairement ou qui se trouve à l'étranger, peut demander à un agent d'immigration, dans la forme prescrite, un permis de retour.

(2) Le fait pour une personne de posséder et d'être titulaire d'un permis valide de retour pour résident, délivré de la manière prescrite, établit, jusqu'à preuve du contraire, que son séjour à l'étranger ne constituait pas une renonciation à considérer le Canada comme son lieu de résidence permanente.

26. (1) Sont déchues de leur qualité de visiteur les personnes

- a) qui ne respectent pas les conditions auxquelles elles ont été autorisées à séjourner au Canada;
- b) qui, sans autorisation, suivent des cours d'université ou de collège ou tout autre cours de formation théorique ou professionnelle ou encore occupent un emploi au Canada;
- c) dont le séjour au Canada dépasse la durée autorisée;
- d) qui, ayant fait l'objet d'un avis d'interdiction de séjour, n'ont pas quitté le Canada à l'expiration du délai imparti; ou
- e) qui ont fait l'objet d'une ordonnance d'expulsion non infirmée ou dont le sursis d'exécution n'a pas été accordé en vertu du paragraphe 75(1).

(2) La durée de l'autorisation de séjour d'un visiteur ne peut dépasser trois mois à compter de sa date, sauf indication contraire et écrite de la part d'un agent d'immigration ou d'un arbitre.

Renvoi après admission

27. (1) Tout agent d'immigration ou agent de la paix, en possession de renseignements indiquant qu'un résident permanent

- a) ne remplit pas les conditions d'obtention du droit d'établissement du fait de son appartenance à l'une des catégories non admissibles visées aux alinéas 19(1)c), d),

in paragraph 19(1)(c), (d), (e) or (g) or in paragraph 19(2)(a) due to his having been convicted of an offence before he was granted landing,

(b) if he was granted landing subject to terms and conditions, has knowingly contravened any such term or condition,

(c) is engaged in or instigating subversion by force of any government,

(d) has been convicted of an offence under any Act of Parliament for which a term of imprisonment of

(i) more than six months has been imposed, or

(ii) five years or more may be imposed,

(e) was granted landing by reason of possession of a false or improperly obtained passport, visa or other document pertaining to his admission or by reason of any fraudulent or improper means or misrepresentation of any material fact, whether exercised or made by himself or by any other person, or

(f) wilfully fails to support himself or any dependent member of his family in Canada,

he shall forward a written report to the Deputy Minister setting out the details of such information.

(2) Where an immigration officer or peace officer has in his possession information indicating that a person in Canada, other than a Canadian citizen or a permanent resident, is a person who

(a) if he were applying for entry, would not or might not be granted entry by reason of his being a member of an inadmissible class other than an inadmissible class described in paragraph 19(1)(h) or 19(2)(c),

(b) has engaged or continued in employment in Canada contrary to this Act or the regulations,

(c) is engaged in or instigating subversion by force of any government,

(d) has been convicted of an offence under the *Criminal Code* or of an offence that may be punishable by way of indictment under any Act of Parliament other than the *Criminal Code* or this Act,

e) ou g) ou à l'alinéa 19(2)a) par suite d'une déclaration de culpabilité faite à son égard avant l'obtention du droit d'établissement,

b) a sciemment contrevenu aux conditions auxquelles était soumis son droit d'établissement,

c) travaille ou incite au renversement d'un gouvernement par la force,

d) déclaré coupable d'une infraction prévue par une loi du Parlement

(i) a été condamné à plus de six mois de prison, ou

(ii) est passible d'au moins cinq ans de prison,

e) a obtenu le droit d'établissement soit sur présentation d'un passeport, visa ou autre document relatif à son admission faux ou obtenu irrégulièrement, soit par des moyens frauduleux ou irréguliers soit grâce à une représentation erronée d'un fait important, que ces moyens aient été exercés ou ces représentations faites par ledit résident ou par un tiers, ou

f) néglige délibérément de subvenir à ses besoins ou à ceux d'une personne à charge, membre de sa famille au Canada,

doit adresser un rapport écrit et circonstancié au sous-ministre à ce sujet.

(2) Tout agent d'immigration ou agent de la paix, en possession de renseignements quant qu'une personne se trouvant au Canada, autre qu'un citoyen canadien ou un résident permanent,

a) pourrait se voir refuser l'autorisation de séjour du fait qu'elle fait partie d'une catégorie non admissible, autre que celles visées aux alinéas 19(1)h) ou 19(2)c),

b) a pris ou conservé un emploi au Canada en violation de la présente loi ou des règlements,

c) travaille ou incite au renversement d'un gouvernement par la force,

d) a été déclarée coupable d'une infraction en vertu du Code criminel ou d'une infraction qui peut être punissable par voie de mise en accusation en vertu d'une loi du Parlement autre que le Code criminel ou la présente loi,

(e) entered Canada as a visitor and remains therein after he has ceased to be a visitor,

(f) came into Canada at any place other than a port of entry and failed to report forthwith to an immigration officer or eluded examination or inquiry under this Act or escaped from lawful custody or detention under this Act,

(g) came into Canada or remains therein with a false or improperly obtained passport, visa or other document pertaining to his admission or by reason of any fraudulent or improper means or misrepresentation of any material fact, whether exercised or made by himself or by any other person,

(h) came into Canada contrary to section 57,

(i) has not left Canada on or before the date specified in a departure notice that was issued to him or, having so left Canada, has been allowed to come into Canada pursuant to paragraph 14(1)(c),

(j) came into Canada as or to become a member of a crew and, without the approval of an immigration officer, failed to be on the vehicle when it left a port of entry,

(k) was authorized pursuant to paragraph 14(2)(b), 23(1)(b) or 32(3)(b) to come into Canada and failed to present himself for further examination within such time and at such place as was directed, or

(l) wilfully fails to support any dependent member of his family in Canada,

he shall forward a written report to the Deputy Minister setting out the details of such information unless that person has been arrested without warrant and held in detention pursuant to section 104.

(3) Subject to any order or direction of the Minister, the Deputy Minister shall, on receiving a report pursuant to subsection (1) or (2), and where he considers that an inquiry is warranted, forward a copy of that report and a direction that an inquiry be held to a senior immigration officer.

e) est entrée au Canada en qualité de visiteur et y demeure après avoir perdu cette qualité,

f) est entrée au Canada à un endroit autre qu'un point d'entrée et ne s'est pas immédiatement présentée à un agent d'immigration ou s'est dérobée à un examen ou à une enquête prévus par la présente loi ou encore s'est évadée alors qu'elle était légalement détenue ou sous garde en vertu de la présente loi,

g) est entrée au Canada ou y demeure soit sous le couvert d'un passeport, visa ou autre document relatif à son admission faux ou obtenu irrégulièrement, soit par des moyens frauduleux ou irréguliers soit grâce à une représentation erronée d'un fait important, que ces moyens aient été exercés ou ces représentations faites par ladite personne ou par un tiers,

h) est entrée au Canada en violation de l'article 57,

i) n'a pas quitté le Canada dans le délai imparti par l'avis d'interdiction de séjour qui lui a été adressé ou, après avoir ainsi quitté le Canada, a obtenu l'autorisation d'y entrer en vertu de l'alinéa 14(1)c),

j) est entrée au Canada à titre de membre de l'équipage d'un véhicule ou pour le devenir et a, sans l'autorisation d'un agent d'immigration, négligé de regagner le véhicule lors de son départ d'un point d'entrée,

k) a été autorisée à entrer au Canada en vertu des alinéas 14(2)b), 23(1)b) ou 32(3)b) et a négligé de se présenter à l'examen complémentaire dans le délai et au lieu indiqués, ou

l) néglige délibérément de subvenir aux besoins d'une personne à charge, membre de sa famille au Canada,

doit adresser à ce sujet un rapport écrit et circonstancié au sous-ministre, à moins que la personne concernée n'ait été arrêtée sans mandat et détenue en vertu de l'article 104.

(3) Sous réserve des instructions ou directives du Ministre, le sous-ministre saisi d'un rapport visé aux paragraphes (1) ou (2), doit, au cas où il estime que la tenue d'une enquête s'impose, adresser à un agent d'immigration supérieur une copie de ce rapport

et une directive prévoyant la tenue d'une enquête.

(4) Where a senior immigration officer receives a copy of a report and a direction pursuant to subsection (3), he shall, as soon as reasonably practicable, cause an inquiry to be held concerning the person with respect to whom the report was made.

(4) L'agent d'immigration supérieur qui reçoit le rapport et la directive visés au paragraphe (3), doit, dès que les circonstances le permettent, faire tenir une enquête sur la personne en question.

28. Where a person is held in detention pursuant to paragraph 23(3)(a) or section 104 for an inquiry, a senior immigration officer shall forthwith cause the inquiry to be held concerning that person.

28. Un agent d'immigration supérieur doit immédiatement faire tenir une enquête au sujet de toute personne détenue, en vertu de l'alinéa 23(3)a) ou de l'article 104, pour fins d'enquête.

Conduct of Inquiries

29. (1) An inquiry by an adjudicator shall be held in the presence of the person with respect to whom the inquiry is to be held wherever practicable.

(2) At the request or with the permission of the person with respect to whom an inquiry is to be held, an adjudicator shall allow any person to attend an inquiry if such attendance is not likely to impede the inquiry.

(3) Except as provided in subsection (2), an inquiry by an adjudicator shall be held *in camera*.

(4) Where an inquiry is held with respect to any person under the age of eighteen years or any person who, in the opinion of the adjudicator, is unable to appreciate the nature of the proceedings, such person may, subject to subsection (5), be represented by a parent or guardian.

(5) Where at an inquiry a person described in subsection (4) is not represented by a parent or guardian or where, in the opinion of the adjudicator presiding at the inquiry, the person is not properly represented by a parent or guardian, the inquiry shall be adjourned and the adjudicator shall designate some other person to represent that person at the expense of the Minister.

30. (1) Every person with respect to whom an inquiry is to be held shall be informed that he has the right to obtain the services of a barrister or solicitor or other counsel and to

Tenue des enquêtes

29. (1) Toute enquête par un arbitre a lieu, dans la mesure du possible, en présence de la personne qui en fait l'objet.

(2) A la demande ou avec l'autorisation de la personne faisant l'objet de l'enquête, l'arbitre doit permettre à des observateurs d'assister à l'enquête, dans la mesure où leur présence n'est pas susceptible d'en entraver le déroulement.

(3) Sous réserve du paragraphe (2), l'arbitre mène l'enquête à huis clos.

(4) En cas d'enquête au sujet d'une personne âgée de moins de dix-huit ans ou d'une personne qui, de l'avis de l'arbitre, n'est pas en mesure de comprendre la nature de la procédure, cette personne peut, sous réserve du paragraphe (5), être représentée par son père, sa mère ou un tuteur.

(5) Au cas où une personne visée au paragraphe (4) n'est pas représentée par son père, sa mère ou un tuteur ou bien au cas où l'arbitre qui mène l'enquête estime que le père, la mère ou le tuteur ne représente pas convenablement la personne, l'enquête est ajournée et l'arbitre doit désigner à ladite personne une autre personne pour la représenter, aux frais du Ministre.

30. (1) Toute personne faisant l'objet d'une enquête doit être informée qu'elle a droit aux services d'un avocat, d'un procureur ou de tout autre conseil pour la repré-

be represented by any such counsel at his inquiry and shall be given a reasonable opportunity, if he so desires and at his own expense, to obtain such counsel.

(2) An adjudicator may at an inquiry receive and base his decision upon evidence adduced at the inquiry and considered credible or trustworthy by him in the circumstances of each case.

31. (1) An adjudicator shall give his decision as soon as possible after an inquiry has been completed and his decision shall be given in the presence of the person concerned wherever practicable.

(2) Where the decision of an adjudicator against or the issuing of a departure notice to a person, the adjudicator shall inform the person of the basis upon which the order was made or the notice was issued.

~~31~~ (1) Where an adjudicator decides that a person who is the subject of an inquiry is a person described in subsection 14(1) or a person who has a right to remain in Canada, he shall let such person come into Canada or remain therein, as the case may be.

(2) Where an adjudicator decides that a person who is the subject of an inquiry is a permanent resident described in subsection 27(1), he shall, subject to subsections 45(1) and 47(3), make a deportation order against that person.

(3) Where an adjudicator decides that a person who is the subject of an inquiry is a person who, at the time of his examination, was seeking landing and that it would not be contrary to any provision of this Act or the regulations to grant landing to that person

- (a) he shall grant landing to that person, in which case he may impose terms and conditions of a prescribed nature; or
- (b) he may authorize that immigrant to come into Canada on condition that he present himself for further examination by an immigration officer within such time and at such place as the adjudicator may direct.

senter et il doit lui être donné la possibilité de choisir un conseil, à ses frais.

(2) L'arbitre peut recevoir les preuves qu'il considère dignes de foi eu égard aux circonstances de chaque espèce et fonder sa décision sur lesdites preuves soumises lors de l'enquête.

31. (1) Après l'enquête, l'arbitre doit rendre sa décision le plus tôt possible, en présence de la personne concernée, si les circonstances le permettent.

(2) A la suite d'une enquête, l'arbitre qui prononce le renvoi ou émet un avis d'interdiction de séjour, doit en faire connaître les motifs à la personne visée.

32. (1) L'arbitre, après avoir conclu que la personne faisant l'objet d'une enquête est visée au paragraphe 14(1) ou a le droit de demeurer au Canada, doit la laisser entrer ou demeurer au Canada.

(2) L'arbitre, après avoir conclu que la personne faisant l'objet d'une enquête est un résident permanent visé au paragraphe 27(1), doit, sous réserve des paragraphes 45(1) et 47(3), en prononcer l'expulsion.

(3) L'arbitre, après avoir conclu que la personne faisant l'objet d'une enquête avait sollicité le droit d'établissement au cours de son examen et qu'il ne serait contraire ni à la présente loi ni aux règlements de le lui accorder

- a) doit lui accorder le droit d'établissement et peut alors lui imposer des conditions prévues aux règlements; ou
- b) peut lui accorder l'autorisation d'entrer au Canada à condition de se présenter, dans le délai et au lieu qu'il indique, devant un agent d'immigration aux fins d'examen complémentaire.

(4) Where an adjudicator decides that a person who is the subject of an inquiry is a person who, at the time of his examination, was seeking entry and that it would not be contrary to any provision of this Act or the regulations to grant entry to that person, he may grant entry to that person and, except in the case of a person who may be granted entry pursuant to subsection 19(3), impose terms and conditions of a prescribed nature.

(5) Where an adjudicator decides that a person who is the subject of an inquiry is a person who, at the time of his examination, was seeking admission and is a member of an inadmissible class, he shall, subject to subsections 45(1) and 47(3),

(a) make a deportation order against that person, if that person is a member of an inadmissible class described in paragraph 19(1)(c), (d), (e), (f) or (g) or 19(2)(a) or (b); or

(b) make an exclusion order against that person, if that person is a member of an inadmissible class other than an inadmissible class referred to in paragraph (a).

(6) Where an adjudicator decides that a person who is the subject of an inquiry is a person described in subsection 27(2), he shall, subject to subsections 45(1) and 47(3), make a deportation order against the person unless, in the case of a person other than a person described in paragraph 19(1)(c), (d), (e), (f) or (g) or 27(2)(c), (h) or (i), he is satisfied that

(a) having regard to all the circumstances of the case, a deportation order ought not to be made against the person, and

(b) the person will leave Canada on or before a date specified by the adjudicator, in which case he shall issue a departure notice to the person specifying therein the date on or before which the person is required to leave Canada.

33 (1) Where a deportation order is made against or a departure notice is issued to a member of a family on whom other members of the family in Canada are dependent for support, any member of the family dependent on such member may be included in that

(4) L'arbitre, après avoir conclu que la personne faisant l'objet d'une enquête avait sollicité l'autorisation de séjour au cours de son examen et qu'il ne serait contraire ni à la présente loi ni aux règlements de la lui accorder, peut la lui accorder et, sauf s'il s'agit d'une personne qui peut obtenir l'autorisation de séjour en vertu du paragraphe 19(3), lui imposer des conditions prévues aux règlements.

(5) L'arbitre, après avoir conclu que la personne faisant l'objet d'une enquête avait demandé l'admission au cours de son examen et qu'elle fait partie d'une catégorie non admissible, doit, sous réserve des paragraphes 45(1) et 47(3),

a) en prononcer l'expulsion au cas où elle fait partie de l'une des catégories non admissibles visées aux alinéas 19(1)c), d), e), f) ou g) ou 19(2)a) ou b); ou
b) en prononcer l'exclusion au cas où elle fait partie d'une catégorie non admissible non visée à l'alinéa a).

(6) L'arbitre, après avoir conclu que la personne faisant l'objet d'une enquête est visée par le paragraphe 27(2), doit, sous réserve des paragraphes 45(1) et 47(3), en prononcer l'expulsion; cependant, dans le cas d'une personne non visée aux alinéas 19(1)c), d), e), f) ou g) ou 27(2)c), h) ou i), l'arbitre doit émettre un avis d'interdiction de séjour fixant à ladite personne un délai pour quitter le Canada, s'il est convaincu

a) qu'une ordonnance d'expulsion ne devrait pas être rendue eu égard aux circonstances de l'espèce; et
b) que ladite personne quittera le Canada dans le délai imparti.

33. (1) En cas d'expulsion ou d'interdiction de séjour d'une personne ayant à charge des membres de sa famille au Canada, ceux-ci, à l'exception des citoyens canadiens et des résidents permanents âgés d'au moins dix-huit ans, peuvent également être visés

order or notice and be removed from or required to leave Canada but no person shall be so included in such order or notice if he is a Canadian citizen or is a permanent resident who is eighteen or more years of age.

dans l'ordonnance d'expulsion ou l'avis d'interdiction de séjour et renvoyés du Canada ou invités à quitter le pays.

5

(2) No person may be included in a deportation order or a departure notice pursuant to subsection (1) unless that person has been given an opportunity to be heard at an inquiry.

(2) Nul ne peut être visé dans une ordonnance d'expulsion ni dans un avis d'interdiction de séjour conformément au paragraphe (1), sans avoir eu la possibilité de se faire entendre au cours d'une enquête.

10

(3) When a person is included in a deportation order pursuant to subsection (1), he shall, except for the purposes of subsection 57(1), be deemed to be a person against whom a deportation order has been made

(3) Toute personne visée dans une ordonnance d'expulsion en vertu du paragraphe (1) est, sauf aux fins du paragraphe 57(1), réputée avoir fait l'objet d'une ordonnance d'expulsion.

15

34. No decision given under this Act prevents the holding of a further inquiry by reason of the making of another report under subsection 26(1) or 27(1) or (2) or by reason of arrest and detention for an inquiry pursuant to section 104.

34. Aucune décision prise en vertu de la présente loi n'interdit la tenue d'une autre enquête par suite d'un autre rapport fait en vertu des paragraphes 20(1) ou 27(1) ou (2) ou par suite d'arrestation et de détention aux fins d'enquête en vertu de l'article 104.

20

35. (1) Subject to the regulations, an inquiry by an adjudicator may be reopened at any time by that adjudicator or by any other adjudicator for the hearing and receiving of any additional evidence or testimony and the adjudicator who hears and receives such evidence or testimony may confirm, amend or reverse any decision previously given by an adjudicator.

35. (1) Sous réserve des règlements, une enquête menée par un arbitre peut être réouverte à tout moment par le même arbitre ou par un autre, à l'effet d'entendre de nouveaux témoignages et de recevoir d'autres preuves, et l'arbitre peut alors confirmer, modifier ou révoquer la décision antérieure.

25

(2) Where an adjudicator amends or reverses a decision pursuant to subsection (1), he may quash any order or notice that may have been made or issued and where he quashes any such order or notice, he shall thereupon take the appropriate action pursuant to section 32.

(2) L'arbitre qui modifie ou révoque une décision en vertu du paragraphe (1), peut infirmer toute ordonnance ou avis et, le cas échéant, doit prendre les mesures appropriées conformément à l'article 32.

30

(3) Where an order or notice is quashed pursuant to subsection (2), that order or notice shall be deemed never to have been made or issued.

(3) Les ordonnances ou avis infirmés en vertu du paragraphe (2), sont réputés n'avoir jamais été rendus.

40

36. Where a removal order is made against any person who has a right of appeal to the Board pursuant to section 72, the adjudicator shall forthwith inform that person of such right of appeal.

36. Au cas où la personne qui fait l'objet d'une ordonnance de renvoi a le droit d'en interjeter appel en vertu de l'article 72, l'arbitre doit immédiatement l'en aviser.

45

Minister's Permits

37. (1) The Minister may issue a written permit authorizing any person to come into or remain in Canada if that person is

- (a) in the case of a person seeking to come into Canada, a member of an inadmissible class, or
 (b) in the case of a person in Canada, a person with respect to whom a report has been or may be made under subsection 27(2).

(2) Notwithstanding subsection (1), a permit may not be issued to

- (a) a person against whom a removal order has been made who has not been removed from Canada pursuant to such an order or has not otherwise left Canada, unless an appeal from that order has been allowed;
 (b) a person to whom a departure notice has been issued who has not left Canada;
 or
 (c) a person in Canada with respect to whom an appeal made pursuant to section 79 has been dismissed.

(3) A permit shall be in force for such period of time not exceeding twelve months as is specified in the permit.

(4) The Minister may at any time, in writing, extend or cancel a permit.

(5) The Minister may, upon the cancellation or expiration of a permit, make a removal order against the person to whom the permit was issued or direct that person to leave Canada within a specified period of time.

(6) Where a person who has been directed by the Minister to leave Canada within a specified period of time fails to do so, the Minister may make a deportation order against that person.

(7) The Minister shall, within thirty days following the commencement of each fiscal year or, if Parliament is not then sitting, within the first thirty days next thereafter that Parliament is sitting, lay before Parliament

Permis accordés par le Ministre

37. (1) Le Ministre peut délivrer un permis écrit autorisant une personne à entrer au Canada ou à y demeurer. Peuvent se voir octroyer un tel permis

- a) les personnes faisant partie d'une catégorie non admissible, désireuses d'entrer au Canada, ou
 b) les personnes se trouvant au Canada, qui font l'objet ou sont susceptibles de faire l'objet du rapport prévu au paragraphe 27(2).

(2) Par dérogation au paragraphe (1), ne peuvent obtenir le permis

- a) les personnes ayant fait l'objet d'une ordonnance de renvoi, qui se trouvent encore au Canada sauf si l'appel interjeté de cette ordonnance a été accueilli;
 b) les interdits de séjour qui n'ont pas encore quitté le Canada; ou
 c) les personnes se trouvant encore au Canada dont l'appel interjeté en vertu de l'article 79 a été rejeté.

(3) Le permis est valable pour la durée qui est indiquée et qui ne peut dépasser douze mois.

(4) Le Ministre peut, par écrit et à tout moment, proroger la durée de validité d'un permis ou l'annuler.

(5) Le Ministre peut, à l'annulation ou à l'expiration d'un permis, prononcer le renvoi de son titulaire ou ordonner à ce dernier de quitter le Canada dans un délai déterminé.

(6) Le Ministre peut prononcer l'expulsion des personnes à qui il a ordonné de quitter le Canada et qui ne l'ont pas fait dans le délai imparti.

(7) Le Ministre doit déposer au Parlement, dans les trente premiers jours de chaque exercice financier, ou, si le Parlement ne siège pas, dans les trente premiers jours de la séance suivante, un rapport précisant le

ment a report specifying the number of permits issued during the preceding calendar year and in respect of each permit issued

- (a) to a person seeking to come into Canada, the inadmissible class of which that person is a member; or
 (b) to a person in Canada, the applicable paragraph of subsection 27(2) pursuant to which a report has been or may be made.

38. (1) Notwithstanding any other provision of this Act or the regulations, the Minister may authorize the landing of any person who at the time of landing has resided continuously in Canada for at least five years under the authority of a written permit issued by the Minister under any immigration laws that were in force in Canada prior to the coming into force of this Act.

(2) Notwithstanding any other provision of this Act or the regulations, the Governor in Council may authorize the landing of any person not described in subsection (1) who at the time of landing has resided continuously in Canada for at least five years under the authority of a written permit issued by the Minister under this Act or under this Act and any immigration laws that were in force in Canada prior to the coming into force of this Act.

Safety and Security of Canada

39. (1) Notwithstanding anything in this Act, where, with respect to any person other than a Canadian citizen or permanent resident, a certificate signed by the Minister and the Solicitor General is filed with an immigration officer, a senior immigration officer or an adjudicator stating that in the opinion of the Minister and the Solicitor General, based on security or criminal intelligence reports received and considered by them, which cannot be revealed in order to protect information sources, the person named in the certificate is a person described in paragraph 19(1)(d), (e), (f) or (g) or in paragraph 27(2)(c), the certificate is proof of the matters stated therein without proof of the signa-

nombre de permis délivrés au cours de la précédente année civile et pour chaque permis délivré

- a) à une personne désireuse d'entrer au Canada, la catégorie non admissible à laquelle elle appartient; ou
 b) à une personne au Canada, l'alinéa du paragraphe 27(2) qui s'applique et en vertu duquel un rapport a été fait ou peut l'être.

38. (1) Par dérogation à toute autre disposition de la présente loi et des règlements, le Ministre peut accorder le droit d'établissement à toute personne qui, au moment où ce droit est accordé, a résidé sans interruption au Canada pendant au moins cinq ans, sous le couvert d'un permis écrit délivré par le Ministre en vertu de toute loi d'immigration en vigueur au Canada avant l'entrée en vigueur de la présente loi.

(2) Par dérogation à toute autre disposition de la présente loi et des règlements, le gouverneur en conseil peut accorder le droit d'établissement à toute personne non visée au paragraphe (1), qui, au moment où ce droit est accordé, a résidé sans interruption au Canada pendant au moins cinq ans sous le couvert d'un permis écrit délivré par le Ministre en vertu de la présente loi ou de la présente loi et de toute loi d'immigration en vigueur au Canada avant l'entrée en vigueur de la présente loi.

Sûreté et sécurité publiques

39. (1) Nonobstant toute disposition de la présente loi, l'attestation, concernant une personne autre qu'un citoyen canadien ou un résident permanent, signée par le Ministre et le solliciteur général, et remise à un agent d'immigration, à un agent d'immigration supérieur ou à un arbitre, déclarant que le Ministre et le solliciteur général estiment qu'à la lumière des rapports secrets qu'ils détiennent en matière de sécurité ou de criminalité et que la nécessité de protéger les sources de renseignements empêche de divulguer, la personne désignée dans l'attestation est visée par les alinéas 19(1)d), e), f) ou g) ou 27(2)c), fait foi de son contenu, l'authenticité des signatures et le caractère officiel

tures or official character of the persons appearing to have signed the certificate unless called into question by the Minister or the Solicitor General.

(2) The Minister shall, within thirty days following the commencement of each fiscal year or, if Parliament is not then sitting, within the first thirty days next thereafter that Parliament is sitting, lay before Parliament a report specifying the number of certificates referred to in subsection (1) that were filed during the preceding calendar year.

40. (1) Where the Minister and the Solicitor General are of the opinion, based on security or criminal intelligence reports received and considered by them, that a permanent resident is a person described in subparagraph 19(1)(d)(ii), or paragraph 19(1)(e) or (g) or 27(1)(c), they may make a report to the Chairman of the Special Advisory Board established pursuant to section 41.

(2) In considering a report made by the Minister and the Solicitor General pursuant to subsection (1), the Special Advisory Board shall

(a) request the Minister or the Solicitor General to provide such additional information as in its opinion is necessary and relevant; and

(b) consult with such Departments of the Government of Canada as it deems appropriate to enable it to determine what circumstances and information should not be disclosed on the ground that disclosure would be injurious to national security or to the safety of persons in Canada.

(3) The Chairman of the Special Advisory Board shall take all necessary precautions

(a) to prevent the disclosure of any circumstances and information that in his opinion should not be disclosed on the ground that disclosure would be injurious to national security or to the safety of persons in Canada; and

des personnes l'ayant apparemment signée ne pouvant être contestés que par le Ministre ou par le solliciteur général.

(2) Le Ministre doit déposer devant le Parlement dans les trente premiers jours de chaque exercice financier ou, si le Parlement ne siège pas, dans les trente premiers jours de la séance suivante, un rapport précisant le nombre d'attestations visées au paragraphe (1) délivrées au cours de la précédente année civile.

40. (1) Au cas où le Ministre et le solliciteur général estiment qu'à la lumière des rapports secrets qu'ils détiennent en matière de sécurité ou de criminalité, un résident permanent est visé par le sous-alinéa 19(1)d(ii), ou les alinéas 19(1)e ou g) ou 27(1)c), ils peuvent adresser un rapport au président du conseil consultatif spécial institué en vertu de l'article 41.

(2) Le conseil consultatif spécial, dans l'examen du rapport adressé par le Ministre et le solliciteur général conformément au paragraphe (1), doit

a) demander au Ministre ou au solliciteur général les renseignements supplémentaires qu'il estime nécessaires et pertinents; et
b) consulter les ministères du gouvernement du Canada qui, à son avis, peuvent lui permettre de déterminer les renseignements qui ne doivent pas être divulgués au motif que leur divulgation serait préjudiciable à la sécurité nationale ou à la sécurité de personnes se trouvant au Canada

(3) Le président du conseil consultatif spécial doit prendre les précautions nécessaires

a) pour éviter la divulgation de renseignements qui, à son avis, ne doivent pas être divulgués au motif que leur divulgation serait préjudiciable à la sécurité nationale ou à la sécurité de personnes se trouvant au Canada; et

(b) to protect the secrecy of any source of any information referred to in paragraph (a).

(4) Where the Chairman of the Special Advisory Board receives a report pursuant to subsection (1), he shall, as soon as reasonably practicable, convene a meeting of that Board to consider the report and shall send to the person to whom the report relates at his last known address

(a) a notice that it is proposed to remove him from Canada in accordance with this section;

(b) a statement summarizing such of the circumstances and information available to the Special Advisory Board as will, in the opinion of the Chairman of that Board, enable the person to be as fully informed as possible of the nature of the allegations made against him, having regard to the duties of that Board and the Chairman thereof referred to in subsections (2) and (3); and

(c) a notice of the time and place where the person may be heard in respect of the proposal to remove him from Canada.

(5) The Special Advisory Board shall permit the person with respect to whom a report has been made by the Minister and the Solicitor General pursuant to subsection (1) to present evidence, to be heard personally or by counsel and to have testify, on his behalf, persons who are likely to give material evidence.

(6) The proceedings of the Special Advisory Board shall be separate and apart from the public.

(7) Subject to section 119, the Special Advisory Board may require any person, other than the person with respect to whom the report has been made by the Minister and the Solicitor General pursuant to subsection (1), to make available to it any relevant information and may receive any evidence or information considered credible or trustworthy by it.

(8) Where at any time before a report is made pursuant to subsection (9), the Special Advisory Board becomes of the opinion that

b) pour assurer le caractère secret des sources de renseignements visés à l'alinéa a).

(4) Le président du conseil consultatif spécial, saisi d'un rapport visé au paragraphe (1), doit convoquer, dès que les circonstances le permettent, une réunion du conseil pour examiner le rapport et doit adresser à la personne visée, à sa dernière adresse connue,

a) un avis précisant que son renvoi du Canada en vertu du présent article est proposé;

b) un exposé résumant les renseignements dont dispose le conseil consultatif spécial et qui, de l'avis de son président, informera, dans la mesure du possible, la personne de la nature des allégations portées contre elle, compte tenu des fonctions incombant au conseil et à son président en vertu des paragraphes (2) et (3); et

c) un avis des date et lieu où la personne pourra être entendue au sujet de son renvoi proposé du Canada

(5) Le conseil consultatif spécial doit permettre à la personne faisant l'objet du rapport adressé par le Ministre et le solliciteur général en vertu du paragraphe (1), de présenter des preuves, d'être entendue en personne ou par l'intermédiaire d'un conseil et de citer les personnes susceptibles de rendre un témoignage important en sa faveur.

(6) La procédure devant le conseil consultatif spécial se déroule à huis-clos.

(7) Sous réserve de l'article 119, le conseil consultatif spécial peut exiger que toute personne, autre que celle qui fait l'objet du rapport adressé par le Ministre et le solliciteur général en vertu du paragraphe (1), lui fournisse des renseignements pertinents à l'examen visé au paragraphe (2). Il peut recevoir les preuves et renseignements qu'il considère dignes de foi.

(8) Au cas où le conseil consultatif spécial, avant d'adresser un rapport conformément au paragraphe (9), estime que les renseignements

the circumstances and information revealed to it are such that the disclosure thereof would not be injurious to national security or to the safety of persons in Canada, it shall terminate its proceedings under this section and advise the Minister and the Solicitor General of the termination.

(9) Where the Special Advisory Board is satisfied that a person to whom a report of the Minister and the Solicitor General 10 referred to in subsection (1) relates has been given an opportunity to be heard in accordance with this section, it shall make a report forthwith to the Governor in Council on all matters relating thereto.

(10) Where proceedings under this section have not been terminated pursuant to subsection (8) and where the Governor in Council is satisfied, after having considered the 20 reports referred to in subsections (1) and (9), that the person concerned is a person described in subparagraph 19(1)(d)(ii) or paragraph 19(1)(e) or (g) or 27(1)(c), the Governor in Council may make a deportation 25 order against that person.

41. (1) There is hereby established a board, to be called the Special Advisory Board, consisting of not more than three members to be appointed by the Governor in 30 Council, of whom at least one shall be a retired judge of a superior court.

(2) The Governor in Council shall designate one of the members appointed pursuant to subsection (1) to be Chairman of the 35 Special Advisory Board and one such member to be Vice-Chairman thereof.

42. It is the function of the Special Advisory Board

(a) to consider any reports made by the 40 Minister and the Solicitor General pursuant to subsection 40(1); and

(b) to advise the Minister on such matters relating to the safety and security of Canada for which the Minister is respon- 45 sible under this Act as the Minister may refer to it for its consideration.

ments portés à sa connaissance sont de telle nature que leur divulgation ne serait préjudiciable ni à la sécurité nationale ni à la sécurité de personnes se trouvant au Canada, il 5 doit mettre fin à la procédure engagée en vertu du présent article et en aviser le Ministre et le solliciteur général.

(9) Le conseil consultatif spécial, après avoir constaté que la personne faisant l'objet du rapport du Ministre et du solliciteur 10 général, visé au paragraphe (1), a eu l'occasion de se faire entendre conformément au présent article, dont immédiatement adresser un rapport au gouverneur en conseil sur toutes 15 questions relatives à ce sujet.

(10) Si le conseil consultatif spécial n'a pas, en vertu du paragraphe (8), mis fin à la procédure engagée en vertu du présent article, le gouverneur en conseil peut prononcer par décret l'expulsion de toute personne dont 20 il est convaincu, après examen des rapports visés aux paragraphes (1) et (9), qu'elle tombe sous le coup du sous-alinéa 19(1)d(ii), ou des alinéas 19(1)e) ou g) ou 27(1)c).

41. (1) Est institué le conseil consultatif spécial, composé d'au plus trois membres 25 nommés par le gouverneur en conseil; au moins un des membres doit être un juge d'une cour supérieure à la retraite.

(2) Le gouverneur en conseil désigne, parmi les membres visés au paragraphe (1), 30 un président et un vice-président.

42. Le conseil consultatif spécial a pour tâche

a) d'examiner les rapports que lui ad- 35 sent le Ministre et le solliciteur général conformément au paragraphe 40(1); et

b) de conseiller le Ministre sur les questions qu'il lui soumet, relatives à la sûreté et la sécurité publiques et relevant de sa 40 compétence en vertu de la présente loi.

Claims to Canadian Citizenship

43. (1) Where, at any time during an inquiry, the person who is the subject of the inquiry claims that he is a Canadian citizen and the adjudicator presiding at the inquiry is not satisfied that the person is a Canadian citizen, the inquiry shall be continued and, if it is determined that, but for the person's claim that he is a Canadian citizen, a removal order or a departure notice would be made or issued with respect to that person, the inquiry shall be adjourned.

(2) Where an inquiry in respect of a person is adjourned pursuant to subsection (1), that person's claim that he is a Canadian citizen shall be referred to such member of the Queen's Privy Council for Canada as is designated by the Governor in Council to act as the Minister for the purposes of the *Citizenship Act* and that person shall forthwith make an application for a certificate of citizenship pursuant to subsection 11(1) of that Act.

44. (1) Where a certificate of citizenship is issued under section 11 of the *Citizenship Act* to a person who is the subject of an inquiry, the adjudicator who was presiding at the inquiry or any other adjudicator shall terminate the inquiry and let that person come into or remain in Canada, as the case may be.

(2) Where a person who is the subject of an inquiry that was adjourned pursuant to subsection 43(1) does not forthwith make an application for a certificate of citizenship pursuant to subsection 11(1) of the *Citizenship Act* or where a certificate of citizenship is not issued under section 11 of that Act to a person who is the subject of an inquiry within six months from the day on which the inquiry was adjourned or within such greater period of time as the adjudicator considers appropriate in the circumstances, or where the adjudicator who was presiding at the inquiry or any other adjudicator is notified by the Minister that it has been determined that a certificate of citizenship will not be issued to that person, the inquiry shall be resumed as soon as reasonably practicable by

Revendication de la citoyenneté canadienne

43. (1) Toute enquête, au cours de laquelle la personne en cause revendique la citoyenneté canadienne, sans en convaincre l'arbitre, doit être poursuivie; elle ne doit être ajournée que s'il est établi qu'à défaut de cette revendication, elle aurait abouti à une ordonnance de renvoi ou à un avis d'interdiction de séjour.

(2) En cas d'ajournement d'enquête conformément au paragraphe (1), la revendication de citoyenneté canadienne doit être transmise au membre du Conseil privé de la Reine pour le Canada désigné par le gouverneur en conseil pour agir en qualité de Ministre aux fins de la *Loi sur la citoyenneté* et la personne en cause doit immédiatement faire une demande de certificat de citoyenneté conformément au paragraphe 11(1) de ladite loi.

44. (1) Lorsqu'un certificat de citoyenneté est délivré conformément à l'article 11 de la *Loi sur la citoyenneté* à une personne visée par une enquête, l'arbitre qui mène l'enquête ou tout autre arbitre, doit y mettre fin et laisser ladite personne entrer ou demeurer au Canada.

(2) L'enquête est reprise, dès que les circonstances le permettent, par l'arbitre qui en était chargé ou par un autre arbitre, au cas où la personne visée par l'enquête ajournée en vertu du paragraphe 43(1), ne fait pas immédiatement une demande de certificat de citoyenneté conformément au paragraphe 11(1) de la *Loi sur la citoyenneté*, ou ne se voit pas délivrer un certificat de citoyenneté conformément à l'article 11 de ladite loi, dans les six mois de l'ajournement de l'enquête ou dans le délai plus long que l'arbitre juge approprié eu égard aux circonstances, et au cas où le Ministre informe l'arbitre qui mène l'enquête ou un autre arbitre que le certificat de citoyenneté ne sera pas délivré.

the adjudicator who was presiding at the inquiry or by any other adjudicator.

(3) Where an inquiry is resumed pursuant to subsection (2), the adjudicator shall make the removal order or issue the departure notice that would have been made or issued but for that person's claim that he was a Canadian citizen.

Determination of Refugee Status

45. (1) Where, at any time during an inquiry, the person who is the subject of the inquiry claims that he is a Convention refugee, the inquiry shall be continued and, if it is determined that, but for the person's claim that he is a Convention refugee, a removal order or a departure notice would be made or issued with respect to that person, the inquiry shall be adjourned and that person shall be examined under oath by a senior immigration officer respecting his claim. 20

(2) When a person who claims that he is a Convention refugee is examined under oath pursuant to subsection (1), his claim, together with a transcript of the examination with respect thereto, shall be referred to the Minister for determination. 25

(3) A copy of the transcript of an examination under oath referred to in subsection (1) shall be forwarded to the person who claims that he is a Convention refugee. 30

(4) Where a person's claim is referred to the Minister pursuant to subsection (2), the Minister shall refer the claim and the transcript of the examination under oath with respect thereto to the Refugee Status Advisory Committee established pursuant to section 48 for consideration and, after having obtained the advice of that Committee, shall determine whether or not the person is a Convention refugee. 40

(5) When the Minister makes a determination with respect to a person's claim that he is a Convention refugee, the Minister shall thereupon in writing inform the senior immigration officer who conducted the examination under oath respecting the claim 45

(3) A la reprise de l'enquête conformément au paragraphe (2), l'arbitre doit, comme si la revendication de citoyenneté canadienne n'avait pas été formulée, prononcer le renvoi ou l'interdiction de séjour. 5

Reconnaissance du statut de réfugié

45. (1) Une enquête, au cours de laquelle la personne en cause revendique le statut de réfugié au sens de la Convention, doit être poursuivie. S'il est établi qu'à défaut de cette revendication, l'enquête aurait abouti à une ordonnance de renvoi ou à un avis d'interdiction de séjour, elle doit être ajournée et un agent d'immigration supérieur doit procéder à l'interrogatoire sous serment de la personne au sujet de sa revendication. 15

(2) Après l'interrogatoire visé au paragraphe (1), la revendication, accompagnée d'une copie de l'interrogatoire, est transmise au Ministre pour décision.

(3) Une copie de l'interrogatoire visé au paragraphe (1) est remise à la personne qui revendique le statut de réfugié. 20

(4) Le Ministre, saisi d'une revendication conformément au paragraphe (2), doit la soumettre, accompagnée d'une copie de l'interrogatoire, à l'examen du comité consultatif sur le statut de réfugié institué par l'article 48. Après réception de l'avis du comité, le Ministre décide si la personne est un réfugié au sens de la Convention. 30

(5) Le Ministre doit notifier sa décision par écrit, à l'agent d'immigration supérieur qui a procédé à l'interrogatoire sous serment et à la personne qui a revendiqué le statut de réfugié. 35

and the person who claimed to be a Convention refugee of his determination.

(6) Every person with respect to whom an examination under oath is to be held pursuant to subsection (1) shall be informed that he has the right to obtain the services of a barrister or solicitor or other counsel and to be represented by any such counsel at his examination and shall be given a reasonable opportunity, if he so desires and at his own expense, to obtain such counsel.

46. (1) Where a senior immigration officer is informed pursuant to subsection 45(5) that a person is not a Convention refugee, he shall, as soon as reasonably practicable, cause the inquiry concerning that person to be resumed by the adjudicator who was presiding at the inquiry or by any other adjudicator, but no inquiry shall be resumed in any case where the person makes an application to the Board pursuant to subsection 70(1) for a redetermination of his claim that he is a Convention refugee until such time as the Board informs the Minister of its decision with respect thereto.

(2) Where a person

(a) has been determined by the Minister not to be a Convention refugee and the time has expired within which an application for a redetermination under subsection 70(1) may be made, or

(b) has been determined by the Board not to be a Convention refugee, the adjudicator who presides at the inquiry caused to be resumed pursuant to subsection (1) shall make the removal order or issue the departure notice that would have been made or issued but for that person's claim that he was a Convention refugee.

47. (1) Where a senior immigration officer is informed that a person has been determined by the Minister or the Board to be a Convention refugee, he shall cause the inquiry concerning that person to be resumed by the adjudicator who was presiding at the inquiry or by any other adjudicator, who shall determine whether or not that person is a person described in subsection 4(2)

(6) Toute personne faisant l'objet de l'interrogatoire visé au paragraphe (1) doit être informée qu'elle a droit aux services d'un avocat, d'un procureur ou de tout autre conseil pour la représenter et il doit lui être donné la possibilité de choisir un conseil, à ses frais.

46. (1) L'agent d'immigration supérieur, informé conformément au paragraphe 45(5) que la personne en cause n'est pas un réfugié au sens de la Convention, doit faire reprendre l'enquête, dès que les circonstances le permettent, par l'arbitre qui en était chargé ou par un autre arbitre, à moins que la personne en cause ne demande à la Commission, en vertu du paragraphe 70(1), de réexaminer sa revendication; dans ce cas, l'enquête est ajournée jusqu'à ce que la Commission notifie sa décision au Ministre.

(2) L'arbitre chargé de poursuivre l'enquête en vertu du paragraphe (1), doit, comme si la revendication du statut de réfugié n'avait pas été formulée, prononcer le renvoi ou l'interdiction de séjour de la personne

a) à qui le Ministre n'a pas reconnu le statut de réfugié au sens de la Convention, si le délai pour demander le réexamen de sa revendication prévu au paragraphe 70(1) est expiré; ou

b) à qui la Commission n'a pas reconnu le statut de réfugié au sens de la Convention.

47. (1) L'agent d'immigration supérieur, informé que le Ministre ou la Commission a reconnu, à la personne qui le revendique, le statut de réfugié au sens de la Convention, doit faire reprendre l'enquête soit par l'arbitre qui en était chargé, soit par un autre arbitre qui détermine si la personne en cause remplit les conditions prévues au paragraphe 4(2)

(2) Where an adjudicator determines that a Convention refugee is not a Convention refugee described in subsection 4(2), he shall make the removal order or issue the departure notice, as the case may be, with respect to that Convention refugee.

(3) Where an adjudicator determines that a Convention refugee is a Convention refugee described in subsection 4(2), he shall, notwithstanding any other provision of this Act or the regulations, allow that person to remain in Canada.

48. (1) There is hereby established a Refugee Status Advisory Committee for the purpose of advising the Minister in respect of any case where a person claims that he is a Convention refugee.

(2) The Minister shall appoint such persons as he considers appropriate to be members of the Refugee Status Advisory Committee.

Service of Orders

49. A removal order or a copy thereof shall, in such manner as is prescribed, be served on the person against whom it is made and on such other persons as are prescribed.

Execution of Orders

50. Subject to sections 51 and 52, a removal order shall be executed as soon as reasonably practicable.

51. (1) Except in the case of a person residing or sojourning in the United States or St. Pierre and Miquelon against whom a removal order is made as a result of a report made pursuant to subsection 20(1), the execution of a removal order is stayed

(a) in any case where the person against whom such order was made has a right of appeal to the Board, at the request of that person until twenty-four hours have elapsed from the time when he was informed pursuant to section 36 of his right of appeal;

(b) in any case where an appeal from such order has been filed with the Board, until

(2) L'arbitre doit prononcer le renvoi ou l'interdiction de séjour du réfugié au sens de la Convention qui, selon lui, ne remplit pas les conditions prévues au paragraphe 4(2).

(3) Par dérogation à la présente loi et aux règlements, l'arbitre doit autoriser le réfugié au sens de la Convention qui, selon lui, remplit les conditions prévues au paragraphe 4(2), à demeurer au Canada.

48. (1) Est institué le comité consultatif sur le statut de réfugié, chargé de conseiller le Ministre en matière de revendication du statut de réfugié au sens de la Convention.

(2) Le Ministre nomme, en qualité de membres du comité consultatif sur le statut de réfugié, les personnes qu'il juge qualifiées.

Signification des ordonnances

49. L'original ou une copie d'une ordonnance de renvoi doit être signifié, de la manière prescrite, à la personne qui en fait l'objet et à toute autre personne que déterminent les règlements.

Exécution des ordonnances

50. Sous réserve des articles 51 et 52, une ordonnance de renvoi doit être exécutée, dès que les circonstances le permettent.

51. (1) Sauf dans le cas d'une personne résidant ou séjournant aux États-Unis ou à St-Pierre-et-Miquelon et faisant l'objet du rapport visé au paragraphe 20(1), il est sursis à l'exécution d'une ordonnance de renvoi

a) à la requête de la personne qui fait l'objet de l'ordonnance, au cas où elle a le droit d'appel à la Commission, durant vingt-quatre heures à compter du moment où elle a été avisée de son droit d'appel conformément à l'article 36;

b) en cas d'appel à la Commission, jusqu'à ce que cette dernière ait rendu sa décision ou déclaré qu'il y a eu renonciation à l'appel;

the appeal has been heard and disposed of or has been declared by the Board to be abandoned;

(c) in any case where the person, being other than a person described in paragraph 19(1)(g), files an appeal or signifies in writing to an immigration officer that he intends to appeal a decision of the Board to the Federal Court of Appeal, until the appeal has been heard and disposed of or the time for filing an appeal has elapsed, as the case may be; and

(d) in any case where the person, being other than a person described in paragraph 19(1)(g), files an appeal or signifies in writing to an immigration officer that he intends to appeal a decision of the Federal Court of Appeal to the Supreme Court of Canada, until the appeal has been heard and disposed of or the time for filing an appeal has elapsed, as the case may be.

(2) A reopening of an inquiry pursuant to section 35 stays the execution of a removal order pending the decision of the adjudicator.

52. (1) A removal order shall not be executed where

(a) the execution of the order would directly result in a violation of any other order made by any judicial body or officer in Canada; or

(b) the presence in Canada of the person against whom the order was made is required in any criminal proceedings and the Minister stays the execution of the order pending the completion of those proceedings.

(2) A removal order that has been made against a person who, at the time it was made, an inmate of a penitentiary, gaol, reformatory or prison or becomes an inmate of such an institution before the order is executed shall not be executed until the person has completed the sentence or term of imprisonment imposed or as reduced by a statute or other law or by an act of clemency.

53. No removal order becomes invalid by reason of any lapse of time between its making and execution.

c) si la personne en cause ne tombe pas sous le coup de l'alinéa 19(1)g) et interjette appel de la décision de la Commission à la Cour d'appel fédérale ou notifie par écrit à un agent d'immigration son intention de le faire, jusqu'à la décision de la Cour ou l'expiration du délai d'appel, selon le cas; et

d) si la personne en cause ne tombe pas sous le coup de l'alinéa 19(1)g) et interjette appel de la décision de la Cour d'appel fédérale à la Cour suprême du Canada ou notifie par écrit à un agent d'immigration son intention de le faire, jusqu'à la décision de la Cour suprême ou l'expiration du délai d'appel, selon le cas.

(2) La réouverture d'enquête visée à l'article 35 suspend, jusqu'à la décision de l'arbitre, l'exécution d'une ordonnance de renvoi.

52. (1) Il ne sera pas procédé à l'exécution d'une ordonnance de renvoi dans les cas suivants:

a) l'exécution irait directement à l'encontre d'une autre ordonnance rendue au Canada par un organisme ou une autorité judiciaires; ou

b) la présence au Canada de la personne visée par l'ordonnance étant requise aux fins de procédures criminelles, le Ministre ordonne le sursis durant lesdites procédures.

(2) L'ordonnance de renvoi rendue à l'égard d'une personne alors détenue dans un pénitencier, une prison ou une maison de correction, ou qui est détenue dans une telle institution avant que l'ordonnance n'ait été exécutée, ne peut être exécutée tant que cette personne n'aura pas purgé sa peine, compte tenu des réductions statutaires de peine et des mesures de clémence.

53. L'ordonnance de renvoi est imprescriptible jusqu'à exécution

54. (1) Unless otherwise directed by the Minister, a person against whom a removal order is made may be allowed to leave Canada voluntarily and to select the country for which he wishes to depart.

(2) Where a person is not allowed to leave Canada voluntarily and to select the country for which he wishes to depart pursuant to subsection (1), he shall, subject to subsection (3), be removed from Canada to

- (a) the place from which he came to Canada;
- (b) the country in which he last permanently resided before he came to Canada;
- (c) the country of which he is a national or citizen; or
- (d) the country of his birth.

(3) Where a person is to be removed from Canada and no country referred to in subsection (2) is willing to receive him, the person, with the approval of the Minister, or the Minister, may select any other country that is willing to receive that person within a reasonable time as the place to which that person shall be removed.

55. Notwithstanding subsections 54(2) and (3), a Convention refugee shall not be removed from Canada to a country where his life or freedom would be threatened on account of his race, religion, nationality, membership in a particular social group or political opinion unless he is

- (a) a member of an inadmissible class described in paragraph 19(1)(c), (e), (f) or (g);
- (b) a person described in paragraph 27(1)(c) or 27(2)(c), or
- (c) a person who has been convicted in Canada of an offence under any Act of Parliament for which a term of imprisonment of ten years or more may be imposed, and the Minister is of the opinion that the person should not be allowed to remain in Canada.

56. Where a person against whom a removal order is made is removed from or otherwise leaves Canada, the order shall be deemed not to have been executed if the

54. (1) Sauf instructions contraires du Ministre, la personne qui fait l'objet d'une ordonnance de renvoi peut être autorisée à quitter le Canada de son plein gré et à choisir le pays où elle veut se rendre.

(2) La personne qui n'a pas été autorisée à quitter le Canada de son plein gré et à choisir le pays où elle veut se rendre, en vertu du paragraphe (1), sera, sous réserve du paragraphe (3), renvoyée

- a) à son point de départ;
- b) au pays où elle avait sa dernière résidence permanente avant le Canada;
- c) au pays dont elle est le ressortissant; ou
- d) à son pays de naissance.

(3) La personne renvoyée du Canada et qu'aucun pays visé au paragraphe (2) ne veut recevoir, peut, avec l'accord du Ministre, choisir comme lieu de destination tout autre pays disposé à la recevoir dans un délai raisonnable. Ce choix appartient également au Ministre.

55. Par dérogation aux paragraphes 54(2) et (3), un réfugié au sens de la Convention ne peut être renvoyé dans un pays où sa vie ou sa liberté seraient menacées, du fait de sa race, de sa religion, de sa nationalité, de son appartenance à un groupe social ou de ses opinions politiques à moins

- a) qu'il ne fasse partie des personnes non admissibles visées aux alinéas 19(1)c), e), f) ou g);
- b) qu'il ne soit une des personnes visées aux alinéas 27(1)c) ou 27(2)c), ou
- c) qu'il n'ait été déclaré coupable au Canada d'une infraction prévue par une loi du Parlement et punissable d'une peine d'au moins dix ans d'emprisonnement, et que le Ministre ne soit d'avis qu'il ne devrait pas être autorisé à demeurer au Canada.

56. Une ordonnance de renvoi est réputée n'avoir pas été exécutée au cas où la personne qui en fait l'objet a été renvoyée ou a quitté le Canada mais n'a pu obtenir la

person is not granted lawful permission to be in any other country and that person may, notwithstanding section 57, come into Canada without the consent of the Minister.

permission de séjourner dans aucun autre pays. Ladite personne peut, par dérogation à l'article 57, revenir au Canada sans l'autorisation du Ministre.

Effect of Removal Orders

Effet des ordonnances de renvoi

57. (1) Subject to section 58, where a deportation order is made against a person, the person shall not, after he is removed from or otherwise leaves Canada, come into Canada without the consent of the Minister unless an appeal from the order has been allowed.

57. (1) Sous réserve de l'article 58, la personne qui fait l'objet d'une ordonnance d'expulsion ne peut plus revenir au Canada sans l'autorisation du Ministre, à moins qu'un appel de ladite ordonnance n'ait été accueilli.

(2) Subject to section 58, where an exclusion order is made against a person, the person shall not, after he is removed from or otherwise leaves Canada, come into Canada without the consent of the Minister at any time during the twelve month period immediately following the day on which that person is removed from or otherwise leaves Canada unless an appeal from the order has been allowed.

(2) Sous réserve de l'article 58, la personne qui fait l'objet d'une ordonnance d'exclusion ne peut plus revenir au Canada, sans l'autorisation du Ministre, durant un délai de douze mois à compter de son départ du Canada, à moins qu'un appel de ladite ordonnance n'ait été accueilli.

58. (1) Where, pursuant to section 77, the Board allows a person to return to Canada for the hearing of his appeal against a removal order, the person may come into Canada for such purpose without the consent of the Minister.

58. (1) La personne autorisée par la Commission, en vertu de l'article 77, à revenir au Canada pour l'audition de son appel interjeté contre une ordonnance de renvoi, peut entrer au Canada à cette fin, sans une autorisation du Ministre.

(2) Where, pursuant to subsection 75(1), the Board directs that execution of a removal order be stayed, the person against whom the order was made does not require the consent of the Minister to come into Canada at any time during the period for which such execution is stayed.

(2) Dans les cas où la Commission, conformément au paragraphe 75(1), ordonne de surseoir à l'exécution d'une ordonnance de renvoi, la personne qui en fait l'objet peut entrer au Canada sans l'autorisation du Ministre, tant que dure le sursis d'exécution.

PART IV

PARTIE IV

APPEALS

APPELS

Establishment of Board

Institution de la Commission

59. (1) There is hereby established a board, to be called the Immigration Appeal Board, that shall, in respect of appeals made pursuant to sections 72, 73 and 79 and in respect of applications for redetermination made pursuant to section 70, have sole and exclusive jurisdiction to hear and determine

59. (1) Est instituée la Commission d'appel de l'immigration ayant compétence exclusive, en matière d'appels visés aux articles 72, 73 et 79 et en matière de demande de réexamen visée à l'article 70, pour entendre et juger sur des questions de droit et de fait, y compris des questions de compétence, rela-

all questions of law and fact, including questions of jurisdiction, that may arise in relation to the making of a removal order or the refusal to approve an application for landing made by a member of the family class.

(2) The Board shall consist of not less than seven and not more than eighteen members to be appointed by the Governor in Council.

60. (1) Subject to subsections (3) and (5), each member shall be appointed to hold office during good behaviour for a term not exceeding ten years, but may be removed by the Governor in Council for cause.

(2) Each member is eligible for re-appointment.

(3) A member ceases to hold office on attaining the age of seventy years.

(4) No person who has attained the age of sixty-five years shall be appointed a member.

(5) Each member who, immediately prior to the coming into force of this Act, was a permanent member of the Immigration Appeal Board established by section 3 of the *Immigration Appeal Board Act*, as it read before it was repealed by subsection 128(1) of this Act, continues in office as a member of the Board and shall hold such office during good behaviour but may be removed by the Governor in Council for cause.

61. (1) The Governor in Council shall designate one of the members to be Chairman of the Board and not more than five of the members to be Vice-Chairmen of the Board.

(2) In the event of the absence or incapacity of the Chairman or a Vice-Chairman or if any such office is vacant, the Minister may designate another member to act as Chairman or Vice-Chairman during his absence or incapacity or until the vacancy is filled, as the case may be, but where the Chairman is absent or unable to act or his office is vacant and no member has been so designated to act in his stead, a Vice-Chairman designated by the Minister has and may exercise and per-

tives à la confection d'une ordonnance de renvoi ou au rejet d'une demande de droit d'établissement présentée par une personne appartenant à la catégorie de la famille.

(2) La Commission est composée de sept à dix-huit commissaires nommés par le gouverneur en conseil.

60. (1) Sous réserve des paragraphes (3) et (5), les commissaires sont nommés à titre inamovible pour un mandat maximal de dix ans. Ils peuvent cependant faire l'objet d'une révocation motivée, de la part du gouverneur en conseil.

(2) Le mandat des commissaires est renouvelable.

(3) La limite d'âge pour exercer les fonctions de commissaire est fixée à soixante-dix ans.

(4) Quiconque a atteint l'âge de soixante-cinq ans ne peut être nommé commissaire.

(5) A l'entrée en vigueur de la présente loi, les membres permanents de la Commission d'appel de l'immigration établie par l'article 3 de la *Loi sur la Commission d'appel de l'immigration*, abrogée par le paragraphe 128(1) de la présente loi, sont maintenus en fonctions en qualité de commissaires à titre inamovible. Ils peuvent cependant faire l'objet d'une révocation motivée, de la part du gouverneur en conseil.

61. (1) Le gouverneur en conseil choisit, parmi les commissaires, un président et un maximum de cinq vice-présidents.

(2) En cas d'absence ou d'empêchement du président ou d'un vice-président, ou en cas de vacance de leur poste, le Ministre peut désigner un autre commissaire pour les remplacer pendant cette période. A défaut de désignation d'un commissaire pour remplacer le président, le Ministre peut désigner un vice-président pour exercer les pouvoirs et attributions du président.